

公益社団法人郡山青年会議所
2019年度 事業報告

公益社団法人郡山青年会議所 2019年度年間事業

日時		業務報告
1月 4日	10:00～	第1回臨時理事会 / 場所：郡山青年会議所事務局
1月 4日	11:20～	新年祈禱 / 場所：安積国造神社
1月 4日	15:00～	新春賀詞交歓会 / 場所：ホテルハマツ
1月 4日	16:30～	郡山青年会議所OB会総会新年会 / 場所：ホテルハマツ
1月 5日	18:30～	会津JC新年会 / 会津若松ワシントンホテル
1月 8日	19:00～	第1回常任理事会 / 郡山青年会議所事務局
1月 11日	18:30～	郡山医師会新年会 / 場所：郡山ビューホテルアネックス
1月 15日	19:00～	第1回理事会 / 郡山青年会議所事務局
1月 16日	16:00～	PEP Kids Koriyama 支援協力 / 場所：PEP Kids Koriyama
1月 16日	18:30～	第1回県南エリア会議 / いわき石川
1月 16日	18:30～	平成31年度郡山市PTA連合会新春教育懇談会 / 場所：ホテルハマツ
1月 16日	18:50～	郡山商工会青年部新年会 / 場所：ホテルハマツ
1月 17日	12:30～	郡山ロータリークラブ卓話 / 場所：郡山ビューホテルアネックス
1月 18日		京都会議（～20日） / 場所：京都
1月 19日	19:00～	郡山歯科医師会新年会 / 場所：郡山ビューホテルアネックス
1月 22日	17:00～	知事を囲む新春議員懇談会 / 場所：ホテルハマツ
1月 23日	18:00～	(公社)郡山青年会議所2018年度新年会 / 場所：郡山ビューホテル
1月 24日	19:00～	二本松JC新年会 / 場所：かねすい
1月 25日	13:30～	東京オリンピック・パラリンピック関連事業等郡山市推進会議 / 場所：郡山市総合福祉センター
1月 25日	19:00～	白河JC新年会 / 場所：東京第一ホテル新白河
1月 26日	17:00～	文団連新春交流会 / 場所：郡山ビューホテルアネックス
1月 26日	19:00～	いわき青年会議所新年会 / 場所：いわきワシントンホテル
1月 27日	18:00～	本名徹次氏を囲む会 / 場所：郡山ビューホテルアネックス
1月 28日	19:00～	いわき石川青年会議所新年会 / 場所：八幡屋

1月 28日	19:30～	だて青年会議所新年会/場所：セレビアスカイパレス
1月 29日	18:30～	田村青年会議所新年会 / 場所：迎賓館 辰巳屋
1月 30日	18:00～	1月例会・定時総会 / 場所：郡山ビューホテルアネックス
1月 31日	13:30～	平成30年度県中地区地域創生総合支援事業（サポート事業）成果発表会 / 場所：郡山合同庁舎
1月 29日	16:00～	新春道路整備セミナー / 場所：郡山ビューホテルアネックス
1月 29日	19:30～	もとみやJC新年会 / 場所：ネーブルシティもとみや
2月 1日	19:00～	第2回常任理事会/場所：郡山青年会議所事務局
2月 2日	16:00～	第1回 会員会議所会議 / 場所：福島 ラコパふくしま
2月 3日	13:30～	2019年度「新春の集い」 / 場所：福島 ウェディングエルティ
2月 3日		アカデミー委員会開校式/場所：福島 ウェディングエルティ
2月 4日	18:30～	郡山商店連合会新年会/場所：郡山ビューホテル
2月 5日	18:30～	第1回OB役員会/郡山ビューホテルアネックス
2月 6日	10:00～	国土緑化郡山市推進委員会会議 / 場所：郡山市役所
2月 6日	19:00～	須賀川青年会議所新年会/場所：鏡石館
2月 10日	13:00～	2019年度ゼミナール委員会開講式 / 場所：仙台迎賓館 斎苑
2月 13日	19:00～	東白川JC新年会/場所：新富屋
2月 14日	19:00～	第2回 理事会 / 場所：郡山青年会議所事務局
2月 19日	19:00～	議案書セミナー / 場所：郡山青年会議所事務局
2月 20日	16:00～	PEP Kids Koriyama 支援協力 / 場所：PEP Kids Koriyama
2月 20日	18:30～	第2回 県南エリア会議 / 場所：郡山青年会議所事務局
2月 21日	19:00～	2月例会/場所：ミューカルがくと館
2月 22日	18:30～	郡山警察署・郡山北警察署幹部並びに青年警察職員との懇談会 / 場所：郡山ビューホテルアネックス
2月 22日	19:00～	財政審査会議 / 郡山青年会議所事務局
2月 23日		金沢会議（～24日） / 金沢市
2月 23日	09:00～	新入会員オリエンテーション並びに現役会員向け会員開発セミナー（～24日） / 場所：ホテル華の湯
3月 1日	19:00～	第3回常任理事会/場所：郡山青年会議所事務局

3月 1日	19:00～	第1回法人格検討会議／場所：郡山青年会議所事務局
3月 3日	12:30～	花柳流あやめ会合同新年会 / 場所：郡山ビューホテルアネックス
3月 4日	16:00～	第2回会員会議所会議／場所：浪江町地域スポーツセンター
3月 5日	13:00～	こおりやま産業博2019実行委員会 / 場所：郡山商工会議所
3月 6日	10:00～	F S Gカレッジリーグ合同卒業式／場所：けんしん文化センター
3月 8日	10:00～	こおりやま東都学園 郡山健康科学専門学校卒業式／場所：郡山健康科学専門学校 第二校舎体育館
3月 8日	18:00～	第35回自衛隊郡山音楽祭 / 場所：郡山市民文化センター
3月 10日	17:10～	郡山市復興の灯火イベント「点灯式」 / 場所：郡山駅西口駅前広場
3月 11日		第8回福魂祭 / 場所：ビッグパレットふくしま
3月 12日	19:00～	NJC建設部会福島ブロック建設クラブ新春交流会 / 場所：郡山ビューホテル
3月 13日	19:00～	事務財政局会議 / 場所：郡山青年会議所事務局
3月 14日	19:00～	第3回理事会 / 場所：郡山青年会議所事務局
3月 14日	19:00～	第2回法人格検討会議／場所：郡山青年会議所事務局
3月 15日	18:50～	農業青年会議所 大勉強会 / 場所：郡山市総合福祉センター
3月 19日	18:30～	第3回 県南エリア会議 / 場所：田村
3月 19日	20:00～	同友会郡山地区総会懇親会 / 場所：郡山ビューホテルアネックス
3月 20日	19:00～	財政審査会議 / 郡山青年会議所事務局
3月 21日	15:00～	3月例会・青木仁志氏講演会 / 場所：例会/労働福祉会館 2階中ホール・講演会/ホテルハマツ 3階平安の間
3月 22日	18:00～	グランドデザインProject「成果報告会」 / 場所：郡山市中央公民館多目的ホール
3月 23日	14:00～	郡山音楽ボランティア響会「第100回合同麗会記念コンサート / 場所：郡山市公会堂
3月 26日	13:00～	平成30年度第5回「一本の水路」プロモーション協議会運営部会・総会 / 場所：ニコニコこども館
3月 26日	17:30～	郡山商工会議所通常議員総会議員セミナー懇親会／場所：郡山ビューホテルアネックス
3月 28日	19:00～	第4回常任理事会 / 場所：郡山青年会議所事務局
4月 3日	13:30～	G B Pがんばっぺ福島 キャラバン・ボン・アペチ解散ディナー / 場所：都内代官山
4月 3日	19:00～	事務財政局会議 / 場所：郡山青年会議所事務局
4月 4日		第3回会員会議所会議／場所：猪苗代

4月 6日	10:00～	こおりやま東都学園入学式 / 場所：郡山健康科学専門学校
4月 7日	18:00～	開成山公園桜のライトアップ桜祭り / 場所：開成山公園自由広場
4月 10日	10:00～	F S Gカレッジリーグ合同入学式 / 場所：郡山市民文化センター
4月 10日	19:00～	第3回法人格検討会議 / 場所：郡山青年会議所事務局
4月 11日		事務財政局会議 / 場所：クボタハウス
4月 12日	13:30～	郡山市青少年健全育成推進協議会理事会 / 場所：ニコニコこども館3階
4月 12日	19:00～	第4回理事会 / 場所：郡山青年会議所事務局
4月 13日	06:00～	しゃくなげカップ2019 / 場所：安達太良カントリークラブ
4月 15日	13:30～	第54回郡山うねめまつり実行委員会 / 場所：郡山商工会議所
4月 15日	14:30～	サマーフェスタ IN KORIYAMA2019実行委員会 / 場所：郡山商工会議所
4月 17日	13:30～	郡山市青少年健全育成推進協議会総会 / 場所：郡山市総合福祉センター
4月 17日	19:00～	郡山商工会議所青年部定時総会懇親会 / 場所：郡山ビューホテルアネックス
4月 19日	19:00～	財政審査会議 / 郡山青年会議所事務局
4月 20日	16:30～	郡山市文化団体連絡協議会総会 / 場所：ホテルハマツ
4月 21日	10:00～	陸上自衛隊郡山駐屯地創立66周年記念行事 / 場所：陸上自衛隊郡山駐屯地
4月 22日	17:10～	4月例会並びにチェリーパーティー / 場所：ビューホテル アネックス
4月 22日	18:30～	第2回郡山JCOB役員会 / 場所：郡山ビューホテルアネックス
4月 24日	17:00～	第4回県南エリア会議 / 場所：白河青年会議所会館
4月 25日	18:00～	「第58回久米賞・百合子賞」実行委員会 第1回委員会 / 場所：郡山市役所本庁舎5階 教育委員会室
4月 25日	18:30～	小川則雄氏交通栄誉章緑十字金賞受章祝賀会 / 場所：郡山ビューホテルアネックス
4月 26日	19:00～	第5回常任理事会 / 場所：郡山青年会議所事務局
4月 27日	16:00～	浪江青年会議所創立40周年記念式典 / 場所：浪江町地域スポーツセンター
5月 5日	10:00～	第54回郡山市こどもまつり / 場所：開成山野球場
5月 9日	10:30～	日本遺産一本の水路7 th モーション会議総会 / 場所：郡山市役所本庁舎2階
5月 9日	19:00～	第4回法人格検討会議 / 場所：郡山青年会議所事務局
5月 14日	13:00～	こおりやま産業博実行委員会 / 場所：郡山商工会議所

5月 14日	18:00～	續大輔氏講演会～郡山の未来を創りだすリーダーへ～開催 / 場所：郡山市民交流プラザ 大会議室（ビッグアイ7階）
5月 15日	16:00～	PEP Kids Koriyama 支援協力 / 場所：PEP Kids Koriyama
5月 15日	19:00～	第5回理事会 / 場所：郡山市青年会議所事務局
5月 16日	15:30～	郡山地域道路整備促進期成同盟会 / 場所：郡山商工会議所
5月 18日		第4回会員会議所会議 / 場所：田村
5月 19日		郡山JCじゃがいもクラブ / 場所：宇津峰カントリークラブ
5月 20日	17:00～	郡山商工会議所女性会総会懇親会 / 場所：ホテルハマツ
5月 21日	19:00～	法人格に関する勉強会 / 場所：中央公民館第1講義室
5月 22日	14:00～	郡山まちづくり推進協議会事業運営委員会 / 場所：郡山商工会議所
5月 23日	14:30～	郡山市献血推進協会定期総会 / 場所：郡山市保健所
5月 23日	19:00～	財政審査会議 / 郡山青年会議所事務局
5月 23日	18:10～	同友会総会懇親パーティー / 場所：ホテルハマツ
5月 24日	13:30～	郡山市国際交流協会理事会 / 場所：郡山市役所
5月 24日	17:00～	5月例会並びに輝け！郡山の魅力サミット～新たな可能性の創出へ～ / 場所：郡山市郡山公会堂
5月 26日	07:00～	第22回わんぱく相撲こおりやま場所 / 場所：郡山相撲場
5月 27日	13:30～	郡山地区警察官友の会・郡山商工団体暴力追放対策懇談会合同通常総会 / 場所：郡山商工会議所
5月 28日	18:30～	郡山市商店連合会通常総会懇親会 / 場所：郡山商工会議所会館
5月 29日	17:30～	郡山商工会議所通常議員総会懇親会 / 場所：郡山ビューホテルアネックス
5月 29日	18:30～	第5回県南エリア会議 / 場所：東白川
5月 30日	14:00～	福島県立聴覚支援学校児童生徒後援会役員会総会 / 場所：県立聴覚支援学校会議室
5月 30日	15:00～	郡山市違法客引きゼロ対策協議会総会 / 場所：郡山市役所
5月 30日	19:00～	第6回常任理事会 / 場所：郡山青年会議所事務局
6月 1日		会津喜多方青年会議所創立45周年記念式典 / 場所：喜多方
6月 1日	18:30～	KPC根本匠先生特別講演会 / 場所：ベルヴィ郡山館
6月 2日	18:00～	郡山農学校総会懇親会 / 場所：郡山ビューホテル
6月 4日	11:00～	郡山市交通対策協議会定期総会 / 場所：郡山市役所

6月 4日	18:30~	第58回「久米賞・百合子賞」審査員顔合せ会 / 場所：郡山ビューホテル 5階 プリエール
6月 5日	13:30~	2019元気応援！！郡山わくわくフェスタ実行委員会 / 場所：清水台地域公民館
6月 7日		第5回会員会議所会議 / 場所：二本松
6月 8日		相馬青年会議所創立50周年記念式典 / 場所：相馬
6月 9日	08:00~	わんぱく相撲福島ブロック大会 / 場所：郡山相撲場
6月 10日		会頭公式訪問
6月 11日	18:30~	第3回OB役員会 / 場所：郡山ビューホテルアネックス
6月 11日	19:00~	第1回OB元気会 / 場所：郡山ビューホテルアネックス
6月 13日	19:00~	第6回理事会 / 場所：郡山青年会議所事務局
6月 14日	13:30~	家庭教育応援プロジェクト第1回地域家庭教育推進県中ブロック会議 / 場所：郡山合同庁舎
6月 16日	13:30~	6月例会並びに郡山JC文化祭 / 場所：郡山市青少年会
6月 17日		JCI ASPAC 2019 (~20日) / 場所：大韓民国・済州
6月 21日	19:00~	財政審査会議 / 場所：郡山青年会議所事務局
6月 21日	07:00~	文団連視察研修旅行 / 場所：東北歴史博物館他
6月 21日	14:00~	郡山まちづくり推進協議会令和元年度通常総会 / 場所：郡山商工会議所会館
6月 21日	19:00~	第5回法人格検討会議 / 場所：郡山青年会議所事務局
6月 23日	08:00~	JCカップU-11 少年少女サッカー 福島県大会概要 / 場所：ナショナルトレーニングセンター Jヴィレッジ
6月 25日	14:30~	福島県立郡山支援学校・福島県総合療育センター肢体不自由児後援会常任理事会・総会 / 場所：福島県立郡山支援学校
6月 25日	16:00~	夏期道路整備セミナー / 場所：ホテルハマツ
6月 26日	18:30~	第6回県南エリア会議 / 場所：須賀川JC会館
6月 28日	19:00~	第7回常任理事会 / 場所：郡山青年会議所事務局
7月 4日	19:00~	第6回法人格検討会議 / 場所：郡山青年会議所事務局
7月 5日	18:00~	第6回 会員会議所会議 / 場所：いわき文化センター
7月 6日	10:00~13:00	福島ブロック大会inいわき 会員拡大セミナー / 場所：潮目交流館
7月 6日	11:00~16:00	福島ブロック大会inいわき いわきたからいち / 場所：アクアマリンパーク
7月 6日	15:00~17:00	福島ブロック大会inいわき メインフォーラム / 場所：潮目交流館

7月 6日	17:00~19:30	福島ブロック大会inいわき 大懇親会 / 場所：アクアマリンパーク
7月 7日	09:30~10:30	福島ブロック大会inいわき J C プロトコル / 場所：いわき市文化センター
7月 7日	11:00~13:00	福島ブロック大会inいわき 記念式典 / 場所：いわき市文化センター
7月 9日	13:30~	中間監査（事業監査・会計監査） / 場所：郡山青年会議所事務局
7月 11日	13:30~14:30	第6回2020東京オリンピック・パラリンピック関連事業等郡山市推進会議 / 場所：郡山市役所 特別会議室
7月 12日		こおりやま文学の森資料館特別企画展内覧会 / 場所：郡山市文学資料館
7月 12日	19:00~	第7回理事会 / 場所：郡山青年会議所事務局
7月 14日	09:30~12:00	スマイルキッズチャレンジ~わくわく！防災思いやりキャンプ！~事前説明会 / 場所：ミュージカルがくと館
7月 17日	16:00~17:00	PEP Kids Koriyama支援協力 / 場所：PEP Kids Koriyama
7月 18日	19:00~	財政審査会議 / 場所：郡山青年会議所事務局
7月 19日		サマーコンファレンス2019（~21日） / 場所：パシフィコ横浜
7月 19日	19:00~	サマーコンファレンス地区ナイト / 場所：伊勢山ヒルズ
7月 20日	18:50~	サマーコンファレンスLOMナイト / 場所：金香楼
7月 24日	18:00~	サマーフェスタ IN KORIYAMA 2019 ビール祭り / 場所：郡山市開成山公園自由広場
7月 25日	13:30~	暴力団追放郡山市民会議総会 / 場所：郡山市総合福祉センター 5階
7月 25日	19:00~	7月例会 / 場所：郡山ビューホテル アネックス 3階 雲水峰
7月 26日	19:00~	第8回常任理事会 / 場所：郡山青年会議所事務局
7月 27日	08:30~	スマイルキッズチャレンジ~わくわく！防災思いやりキャンプ！~（~28日） / 場所：郡山市少年湖畔の村
7月 29日	19:30~	第2回臨時理事会 / 場所：郡山青年会議所事務局
7月 30日	10:00~	郡山市明るい祭礼推進委員会総会 / 場所：郡山市役所西庁舎3階 多目的ホール3
8月 2日	14:00~	第55回郡山うねめまつり 踊り流し 葛城王：郡山J C 理事長 佐藤拓也 / 場所：駅前大通り
8月 3日	16:20~	第55回郡山うねめまつり 踊り流し 葛城王：奈良J C 理事長 / 場所：駅前大通り
8月 3日		第35回わんぱく相撲全国大会（~4日） / 場所：墨田区総合体育館
8月 7日	18:00~	事務財政局会議 / 場所：郡山青年会議所事務局
8月 9日	19:00~	第8回理事会 / 場所：郡山青年会議所事務局
8月 21日	16:00~17:00	PEP Kids Koriyama支援協力 / 場所：PEP Kids Koriyama

8月 21日	19:00～	財政審査会議 / 場所：郡山青年会議所事務局
8月 22日	19:00～	8月例会 / 場所：ミューカルがくと館
8月 23日	15:00～	第1回「一本の水路」ブランド認証団体交流会 / 場所：郡山公会堂
8月 23日	18:30～	第7回県南エリア会議 / 場所：いわき石川
8月 25日		第1回わんぱく相撲女子全国大会 / 場所：葛飾柴又帝釈天題経寺
8月 25日	15:00～	(公社) いわき青年会議所創立15周年記念式典・祝賀会 / 場所：いわきワシントンホテル椿山荘アゼリアB・C
8月 26日	19:00～	事務局引越し / 場所：郡山青年会議所事務局
8月 27日	09:30～17:00	事務局引越し / 場所：郡山青年会議所事務局
8月 29日	19:00～	第9回常任理事会 / 場所：国際ビジネス公務員大学校 201教室
8月 31日	15:00～	第7回会員会議所会議 / 場所：会津喜多方 七福神ホール
9月 2日	15:00～	新事務局ご祈祷 / 場所：郡山青年会議所事務局
9月 3日	18:00～	郡山芸妓組合納涼会 / 場所：郡山ビューホテルアネックス
9月 6日	13:30～	第8回役員会議 / 場所：能代
9月 7日		東北青年フォーラムin能代(～8日) / 場所：能代
9月 10日	13:30～	ウインターフェスタINKORIYAMA2020実行委員会 / 場所：郡山商工会議所 5階
9月 10日	14:30～	ビッグツリーページェントフェスタINKORIYAMA2020実行委員会 / 場所：郡山商工会議所 5階
9月 10日	19:00～21:00	第58回「久米賞・百合子賞」読み合わせ会 / 場所：郡山青年会議所事務局
9月 12日	19:00～	第9回理事会 / 場所：郡山青年会議所事務局
9月 13日		奈良公式訪問(～14日) / 場所：奈良市
9月 18日	16:00～17:00	PEP Kids Koriyama支援協力 / 場所：PEP Kids Koriyama
9月 22日	10:00～16:00	ユニバーサルフェスティバル2019～音楽とスポーツでつながる郡山～ / 場所：ショッピングモールフェスタ 駐車場
9月 24日	14:00～	郡山うねめまつり実行委員会第2回企画部会 / 場所：郡山商工会議所会館5階
9月 24日	18:30～	9月例会並びに定時総会 / 場所：郡山ビューホテルアネックス 3階 麓山
9月 25日	18:00～19:00	第58回「久米賞・百合子賞」実行委員会 第2回委員会 / 場所：郡山市役所西庁舎 多目的ホール2会議室
9月 25日	19:30～	財政審査会議 / 場所：郡山青年会議所事務局
9月 26日	18:00～	第8回県南エリア会議 / 場所：三春交流館まほら

9月 28日	11:00～	(一社) 奈良青年会議所創立60周年記念式典 / 場所: ホテル日航奈良
9月 28日	09:40～16:00	こおりやまみらい☆シティ～エンバ～サマフェスティバル～キッズJOBタウン～ / 場所: 開成山公園自由広場・野外音楽堂
9月 30日	19:30～	第3回会員拡大会議 / 場所: 郡山青年会議所事務局
10月 1日	19:00～	第10回常任理事会 / 場所: 郡山青年会議所事務局
10月 5日	15:00～	第8回会員会議所会議 / 場所: 原町
10月 6日	11:30～	菅野豊氏旭日双光章受章記念祝賀会 / 場所: ホテル華の湯
10月 6日	13:00～	イザ!カエルキャラバン! / 場所: 九品寺こども園
10月 8日	13:30～	東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業等郡山市実行委員会 / 場所: 郡山市役所 2階 特別会議室
10月 11日		全国大会富山大会(～13日) / 場所: 富山
10月 15日	19:00～	第10回理事会 / 場所: 郡山青年会議所事務局
10月 16日	16:00～17:00	PEP Kids Koriyama支援協力 / 場所: PEP Kids Koriyama
10月 17日	11:00～13:00	令和元年度「小学生の税に関する標語」審査 / 場所: 郡山法人会館
10月 18日	19:00～	第58回「久米賞・百合子賞」最終審査会 / 場所: 市民交流プラザ ビックアイ7階 大会議室
10月 21日	19:00～	10月例会 / 場所: 郡山市公会堂
10月 23日	18:30～	第4回OB役員会 / 場所: 郡山青年会議所事務局
10月 25日	19:00～	財政審査会議 / 場所: 郡山青年会議所事務局
10月 29日	17:00～	郡山商工会議所臨時議員総会 / 場所: ホテルハマツ
11月 1日	19:00～	第11回常任理事会 / 場所: 郡山青年会議所事務局
11月 4日		JCI世界会議タリン大会(～8日) / 場所: エストニア
11月 7日		国際ソロプチミスト郡山第36回チャリティーパーティー / 場所: 郡山ビューホテルアネックス
11月 11日	13:30～	第14回暴力団追放郡山市民大会 / 場所: 郡山市中央公民館
11月 12日	17:10～18:00	令和元年度「小学生の税に関する標語」表彰式 / 場所: ホテルハマツ
11月 14日	13:10～	令和元年度郡山市豊かな長寿社会 いきいきふれあいの集い / 場所: 郡山市文化センター
11月 14日	19:00～	第11回理事会 / 場所: 郡山青年会議所事務局
11月 15日	16:30～	ビッグツリーページェント・フェスタIN KORIYAMAオープニングセレモニー / 場所: 郡山駅前西口広場
11月 16日	13:30～	郡山市青少年健全育成推進大会 / 場所: 中央公民館

11月 16日	16:30~18:00	第9回会員会議所会議 / 場所：ラコボ福島
11月 17日		事業報告会・ブロック卒業式 / 場所：福島
11月 20日	16:00~	PEP Kids Koriyama支援協力 / 場所：PEP Kids Koriyama
11月 20日	19:00~	上田博和氏講演会 / 場所：郡山ビューホテルアネックス4階
11月 21日	19:00~	歴代理事長を囲む会 / 場所：郡山ビューホテルアネックス6階 舟津
11月 23日		久米賞・百合子賞授賞式・講演会・11月例会 / 場所：郡山市民交流プラザ
11月 25日		財政審査会議 / 場所：郡山青年会議所事務局
11月 26日	19:00~	法人格に関する勉強会 / 場所：市民交流プラザ（ビッグアイ）第1会議室
11月 27日	15:20~16:20	奥羽大学講義「郡山の未来に向けて～郡山青年会議所の活動を通じて」 / 場所：奥羽大学
11月 28日	18:00~20:00	OB忘年会 / 場所：イマンジャ
11月 29日	18:00~	郡山の秋祭り・子供相撲大会実行委員会並びに懇親会 / 場所：大人の隠れ家 濤彩
12月 1日	13:30~	2019年度会員会議所会議 / 場所：八戸グランドホテル
12月 1日	17:00~	卒業証書授与式 / 場所：八戸グランドホテル
12月 1日	19:00~	卒業式大懇親会 / 場所：八戸グランドホテル
12月 2日	19:00~	第12回常任理事会 / 場所：郡山青年会議所事務局
12月 10日	10:00~12:00	2019年度「郵政事業有識者懇談会（福島県）」 / 場所：ホテルハマツ
12月 14日	13:00~	12月臨時総会 / 場所：郡山ビューホテル
12月 14日	14:00~17:00	12月例会 / 場所：郡山ビューホテル
12月 14日	17:20~	（公社）郡山青年会議所卒業式 / 場所：郡山ビューホテル
12月 16日	18:00~	第5回郡山JCOB役員会 / 場所：京香
12月 18日	16:00~17:00	PEP Kids Koriyama支援協力 / 場所：PEP Kids Koriyama
12月 18日	19:00~	第12回理事会 / 場所：郡山青年会議所事務局
12月 19日	18:00~	第58回「久米賞・百合子賞」第3回実行委員会 / 場所：郡山市役所本庁舎5階 教育委員会室
12月 25日	19:00~	財政審査会議 / 場所：郡山青年会議所事務局
1月 9日	10:00~	会計監査 / 場所：郡山青年会議所事務局
1月 11日	15:00~	第13回常任理事会 / 場所：郡山青年会議所事務局
1月 11日	18:00~	第13回理事会 / 場所：郡山青年会議所事務局

常任理事報告

副理事長報告

副理事長 伊藤 和樹

本年度、副理事長という重責を務めさせていただきました。佐藤理事長が掲げる「心一つに！輝きある未来へ！！～一人ひとりの輝きが郡山を照らす～」のスローガンのもと、先輩諸氏から受け継がれてきた郡山青年会議所の歴史と伝統、また公益法人格を有する団体として相応しい事業構築や組織運営についても指導、助言し今後を見据えた人材の育成に重点を置き、青年会議所運動の本質をメンバーに伝えましたが、伝えていくことの重要性を実感する一年となりました。

まちのため、ひとのために議論を重ねた一年でしたが、常任理事として責任を果たすことが出来たのも、メンバー一人ひとりの輝きが増していく過程を共にすることを体感できたからだと、深く感謝を申し上げます。このような機会を与えていただいた、佐藤理事長をはじめとする、メンバーの皆様には御礼を申し上げ、副理事長報告とさせていただきます。一年間、本当にありがとうございました。

副理事長 二瓶 一嘉

本年度は、「心一つに！輝きある未来へ！！～一人ひとりの輝きが郡山を照らす～」のスローガンのもと、経験年数が浅い理事メンバーが増えてきている中で、LOMの運営、事業構築・実施、そして先輩諸氏から連綿と受け継がれてきた郡山青年会議所の歴史と伝統を一年間現役会員へと伝えてまいりました。

また、本年は公益法人格移行10年という節目を迎え、経験年数の短期化や理事メンバーの早年化により、法人格についての知識が浅いことや郡山青年会議所に合った法人格を選択するために、法人格についての勉強会を実施し、法人格についての知識を深めることができた一年だと思います。

最後となりますが本年度、副理事長という重責を与えていただきました佐藤理事長をはじめ現役会員の皆様には感謝するとともに、この一年間で得た気づき、学びを今後の活動に活かすことを約束させていただき、報告とさせていただきます。

副理事長 柳 沼 克郎

本年度、佐藤理事長の掲げられた「心一つに！輝きある未来へ！！～一人ひとりの輝きが郡山を照らす～」のスローガンのもと、在籍年数の浅いメンバーが半数を占める状況において、LOMメンバー一人ひとりが己の役割を認識し率先した行動を行える環境を構築するべく、事業の参加促進や、自らの経験を活かしてアドバイスをさせていただきました。時には厳しいことを言わせていただいたこともございましたが、それがメンバー一人ひとりの輝きに繋がり、ひいては市民の郡山青年会議所に対する興味や期待を広げられたと確信しております。また、私自身においても副理事長という立場で多くの学びや気づきがあり、多様化した時代において、しっかりとその変化を見極めながら、自らも変化させていく必要性を改めて感じた一年でございました。この経験を、今後の運動・活動に活かして参りたいと思います。

最後になりますが、本年度副理事長という役割を預からせていただき、佐藤理事長をはじめお支えいただいた現役メンバーの皆様には感謝申し上げます。報告とさせていただきます。

特別局長報告

事務財政局特別局長 柳 沼 勝 恵

本年度、「心を一つに！輝きある未来へ！！～一人ひとりの輝きが郡山を照らす～」のスローガンのもと、公益法人格を有する組織として郡山青年会議所の運動が一年間を通し滞りなく遂行されるようメンバー丸となって取り組ませていただきました。

本年度の主な活動としましては、各委員会の想いのこもった議案書を事前に審査、確認することで、会議の円滑化に務めてまいりました。特に公益に関する事項やコンプライアンス、予算面などについては、我われ事務財政局としてもしっかりと勉強しながら、的確な指示、指導を行えるよう務めてまいりました。SDGsについても郡山青年会議所としてどう取り組むかを考え、議案書に関連性などを反映させるよういたしました。

また、この先へ繋ぐ輝きある運営に向け、今後公益法人格とどのように向き合っていくか議論を重ね、全メンバーを対象に二度の勉強会及びアンケートを実施いたしました。

LOMの円滑な運営に向け一年間活動してまいりましたが、指示、指導する立場として、自らも研鑽する機会が多くあり成長に繋げることができました。このような貴重な経験の機会をいただきました、佐藤理事長をはじめ、全ての現役メンバーの皆様に感謝申し上げます。

室長報告

指導力開発室室長 根本 太 介

2019年度の未来創造室は、佐藤拓也理事長の掲げる「心を一つに！輝きある未来へ！！～一人ひとりの輝きが郡山を照らす～」のスローガンのもと、会員開発活動と広報渉外活動を展開してまいりました。

松井委員長率います会員開発委員会では「矜持～JAYCEEとして、地域と未来を照らす灯火となろう～」を委員会スローガンに掲げ、会員の資質向上と会員拡大活動を展開してまいりました。1月には京都会議引率を担当し、2019年度新たな方向性を示す日本青年会議所の基本理念・会頭所信を共有する京都会議において、多くのメンバーで参加し、今年一年の方針を享受することができました。2月に開催した「新入会員オリエンテーション並びに現役会員向け会員開発セミナー」ではJAYCEEとして「何ができるのか」、「何をすべきなのか」、「何を变えるのか」を学んでもらい、未来の為に率先して行動する意識を醸成する場となりました。4月例会並びにチェリーパーティでは会員拡大の具体的情報や、東北青年フォーラムに向けての心構え等のお話も多く伺うことができ、大変貴重な時間となりました。5月には續大輔氏をお招きし「郡山の未来を創りだすリーダーへ」の演題のもとご講演いただきました。地方が抱える課題を既存のモノやヒトを巻き込み新しい価値を創り出すことで持続可能な解決策を提案し、関わる全ての人が物質的にもよくなる仕組みを取り入れてきた実例を参考に、JCメンバー自身の強み・今後のビジョン、ターゲット、展開スケジュールをワーク形式で学び、多面的思考をもって価値デザインの感覚を養うことができました。11月の上田博和氏講演会では「郡山の輝く未来のために～いまやらねば だれがやる～」のテーマのもとご講演いただきました。台風の影響により開催日程が変更となりましたが、新入会員候補者を多く集め、青年会議所の魅力やJAYCEEとして己が何をすべきか自覚することができ、参加者の意識・思考の変化が感じられました。また会員拡大への取り組みとしてOBとの交流会の開催や会員拡

大会議を開催し、先輩諸氏から会員拡大の情報を集めると共に現役会員には拡大に対する意識の確認、共有を委員会一丸となって務めてまいりました。その結果として2020年度は10名の新たな同志を迎え入れることができました。

真山委員長が率います広報渉外委員は「きらめき☆ときめき～人の輝きがまちに共感を広げる～」をスローガンに「人」に光を当てた情報発信に取り組み、実施する事業に市民を巻き込みながら「人」の繋がりを通じて、郡山青年会議所の想いを伝えていく広報活動に務めてまいりました。2月の「新入会員オリエンテーション並びに現役会員向け会員開発セミナー」では会員開発委員会と協力をしながら設営に取り組みました。3月例会並びに青木仁志氏講演会では「きらりと輝く自分みがき～自信は自ら育むもの～」を講演テーマとして、400名を超える参加者に、能動的に行動できる人材に成長するために必要な自信を育むための気づきの機会を提供することができました。9月に行われた全国大会富山大会引率では台風の影響により土曜日以降のファンクションが大幅に変更となりましたが、臨機応変な対応を行い、非常時での緊急対応を学ぶ場にもなりました。またその他の事業として、道路愛称公募事業を企画させていただきましたが、道路管理者である福島県やその他の関係者などとの協議の結果、諸般の事情により事業実施に至ることができませんでした。しかしながら、郡山青年会議所が地域課題に向き合い、地域活性化に貢献しようという想いを関係団体に発信することができました。また一年間にわたり広報誌の発刊やホームページの運営管理を行い郡山青年会議所の運動・活動を対内外へ発信し多くの共感の輪を広げることができたと感じております。

最後に指導力開発室として両委員会とJC運動・活動を行わせていただき、室長として両委員会のメンバーに支えられながら一年間を全うすることができました。今回、室長としての貴重な機会を与えていただいた佐藤拓也理事長、増子陽専務理事、そしてLOMメンバーの皆様に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

未来創造室室長 金山 慶一

2019年度の未来創造室は、佐藤拓也理事長の掲げる「心をついに！輝きある未来へ！！～一人ひとりの輝きが郡山を照らす～」のスローガンのもと、まちづくり事業と青少年育成事業を精力的に展開して参りました。

本多利幸委員長が率いますまちづくり委員会では、多様な価値観を受け入れる土壌を創ることで、一人ひとりが主役となって輝くことができるユニバーサルシティ郡山の実現に向けて活動して参りました。人と人の心が繋がり多様な個性や価値観が共存し合いそれぞれの文化が輝き、その輝きが重なり合うことで新たな文化を生み出すことができる音楽とスポーツに関する事業を展開して参りました。

5月例会並びに『輝け！郡山の魅力サミット～新たな可能性の創出へ～』では、各団体に個々の活動を発信してもらい、音楽とスポーツによる相乗効果と各団体の活動範囲を広げ、新たな可能性を見出すきっかけとすることを目的として開催しました。今後、音楽とスポーツ団体が協力し、どのようなまちづくり事業を開催できるかを議論し、まちづくり委員会で開催するメイン事業へ各団体との連携を図ることができました。

ショッピングモールフェスタの駐車場で開催しました「ユニバーサルフェスティバル2019～音楽とスポーツでつながる郡山」では、台風の影響により、開催が心配されて

おりましたが、終始悪天候に見舞われることなく、大勢の市民が、音楽とスポーツによって繋がり、様々な文化を共有することで新たな文化の創造の機会となりました。また、事業内での体験ブースや飲食ブースにて、参加者が郡山の魅力に触れ合い地域に対する興味、関心を更に深めていただくきっかけとし、市民一人ひとりが笑顔で主役となって輝いており、我々が考える「ユニバーサルシティ郡山」の実現に繋がりました。

芝田銀平委員長が率います青少年育成委員会では、子どもたちが様々な体験を積み重ねることによって他者に関心を持ち、相手を思いやる心を持ち、その子どもたちが成長することで、相手を思いやる心を持った次世代のリーダーへと成長し、郡山の輝く未来へと繋げることを目的に活動いたしました。

「第54回郡山市子どもまつり」では、郡山市内の青少年育成に関わる団体と連携し、子どもたちが楽しくふれあい、家族みんなが笑顔になれる設えとし、PRブースでは、郡山青年会議所の過去の事業や今後開催される事業の内容を市民へ発信する場となりました。

そして「わんぱく相撲」では、同世代の子ども達が繰り広げる真剣勝負のなかで、目標を持つことの大切さや礼節など、相手への思いやりの心を育む機会を提供することができました。また、今年度より「わんぱく相撲女子全国大会」も開催され、次年度以降も開催の予定がありますので、男子同様に国技である相撲を通じた健全な青少年育成に寄与していきます。

本年度最大の取り組みとしては、郡山市内の小学4～6年生を対象とした「スマイル・キッズ・チャレンジ～わくわく！防災思いやりキャンプ！」になります。多くの甚大な自然災害が発生する現在、二次災害を防ぐために、事業内では消防署等の講師をお呼びし、子どもたちが防災について学びながら課題に取り組み、学んだ知識を自ら家族、友達、地域に伝えることで地域一体となって防災に取り組む基盤を作りました。その体験を通して、思いやりの心と主体性を高め、将来の郡山を担う思いやりのあるリーダーの育成に繋がりました。

11月には歴史と伝統のある「第58回久米賞・百合子賞授賞式」を開催いたしました。今年度も郡山市内の中学三年生より多くの作品をご応募いただきました。文学賞としての魅力や文学に関わることのすばらしさを広く一般市民に伝えることで青少年の文学に対する芽を育み、青少年健全教育を推進いたしました。講演会の講師には柳美里先生をお招きし、「物語の書き方と福島への想い」をお話いただき、参加者より多くの質問が飛び交い、盛会に終えることができました。

最後まで輝き続けJC運動、活動に励んだ本多委員長ならびに芝田委員長、委員長を支え続けた副委員長をはじめとする委員会のみなさま、大変お疲れ様でした。事業にご協力

いただきました現役会員のみなさま、様々な面で助言をいただきました常任理事のみなさま

ま、そしてこのような機会を与えていただいた佐藤拓也理事長に感謝申し上げます。一年間ありがとうございました。

2019年度 総務委員会

委員長 川村 憲司
副委員長 菅野 浩二
副委員長 佐久間 悠治
副委員長 川島 弘靖

★委員会スローガン

事 上 磨 錬

～為せば成る 為さねば成らぬ 何事も 成らぬは人の 為さぬなりけり～

★ 事 業 方 針

郡山青年会議所は創設以来明るい豊かな社会の実現に向け、ひとづくりやまちづくりを通じ自己研鑽を重ね郡山の政治・経済界において多くのリーダーを輩出し続け、地域になくてはならない青年団体として歴史を重ねてきた。そのような歴史背景のなか、近年LOMの課題となっている会員減少や在籍年数の浅い会員が増加してきている状況から郡山青年会議所の会員としての素養や培われてきた経験・知識を新入会員に対して承継していく重要性が増してきている。

総務委員会は例会の設営や各種事業への参加を通じ青年会議所の運動内容や精神を学び自らの成長を図るため活動を行う。新入会員は様々な事業へ積極的に参加することにより、現役メンバーはもちろん、郡山青年会議所の歴史を創り上げてこられた先輩諸氏、今年度姉妹JC締結45周年を迎える（一社）奈良青年会議所メンバーと交流する機会を得ることでこれまで郡山青年会議所が脈々と受け継いできた歴史と伝統、精神を学ぶことができる。また、総務スタッフも新入会員への指導を通じ、自ら初心に戻り多角的な視点から運営を学び、新入会員に経験・知識を伝えるために己を客観的に見つめることでLOMを支え飛躍させることができる人財へと成長する。

総務委員会のメンバー一人ひとりが、これまで受け継がれてきた歴史と伝統、そして「修練」・「奉仕」・「友情」のJC三信条をはじめとした精神を重んじ学ぶことで「何ができるのか」「何をすべきなのか」を常に考え能動的に行動ができるLOMの根幹を担う人財となり、自らの持つ輝きがJCという学び舎で磨かれ更に輝きを増し、郡山の未来を照らし牽引するリーダーとして成長し明るい豊かな社会の実現へ繋げることができる。

★ 事 業 計 画〔開催予定月〕

- | | |
|---|---------|
| 1. 新入会員の教育・指導 | 〔通年〕 |
| 2. 例会の設営 | 〔通年〕 |
| 3. 新年会の設営 | 〔1月〕 |
| 4. 定時総会の設営 | 〔1月・9月〕 |
| 5. 会員親睦事業の企画運営 | 〔6月〕 |
| 6. 福島ブロック大会inいわき参加引率 | 〔7月〕 |
| 7. うねめまつり参加引率 | 〔8月〕 |
| 8. 奈良公式訪問参加引率 | 〔9月〕 |
| 9. 卒業式の企画運営 | 〔12月〕 |
| 10. 文書発送作業 | 〔毎月15日〕 |
| 11. 常任理事会、理事会等諸会議の設営と運営、
その他庶務に関する業務 | 〔通年〕 |
| 12. 総会資料、会員名簿・名刺の作成 | 〔通年〕 |
| 13. 会員拡大に関する情報収集 | 〔通年〕 |
| 14. その他理事長所信に基づき行う事業 | 〔通年〕 |

★事業報告

1. 新入会員の教育・指導

新入会委員は様々な事業に参加することで青年会議所運動、活動に触れ学ぶことで能動的に考え行動できるよう成長し、スタッフにおいても常に先を見据えた行動を取る人財へと成長できた。本年度は12名の新入会委員でスタートし、前半は足並みがなかなか揃わないこともあったが年間を通し大きな成長を感じることができた。

2. 例会の設営

① 1月例会

2019年度最初の例会設営を良い緊張感の中、取り組むことができた。佐藤理事長より熱き想いの詰まったご挨拶をいただき、その後の会務報告では各委員長より本年度の委員会スローガンや委員会の事業方針を踏まえ、意気込みを語っていただくことで意識の共有を図ることができた。設営においては総務スタッフが中心となり指導することにより次回以降の新入会員が中心となる例会設営に繋げることができた。

② 2月例会

新入会員が初めて設営、セレモニーをメインで担当する例会ということもあり総務一丸となり良い緊張感の中執り行うことができた。タイムスケジュールに関しても、皆様のご協力のお陰でほぼ計画通りに進めることができた。しかし、インフルエンザの流行もあって当日出席率では前年度を若干減少してしまった。

③ 3月例会

2月例会の反省点を踏まえ事前の現地調査を含めてしっかりと準備を行い設営することができ、大きなミスも見受けられず、予定時間内に終えることができた。また、青木仁志氏講演会が例会後に控えていることもあり良い緊張感の中、設営にあたることができた。

④ 4月例会

OB会会員の先輩方と交流の場である4月例会・チェリーパーティーは、新入会員や現役メンバーにとっても非常に重要な事業であり、多くの先輩方から会員拡大や過去の東北青年フォーラムについて様々なお話を伺うことができ、非常に有意義な時間を過ごすことができた。設営面では細かな不備はあったものの、皆様のご協力のお陰で大きな問題も無く無事に開催することができた。

⑤ 5月例会

5月例会ではまちづくり委員会と協力し設営、リハーサルを重ねた結果大きなトラブルもなく予定時間内にスムーズに終えることができた。輝け！郡山の魅力サミットにおいては外部団体の方々をお招きするにあたり我々がホスト側であるという意識を持ち設営することができたが、細かな不備があり、心遣いや臨機応変な対応が必要であった。

⑥ 6月例会

6月例会は日曜日の早い時間からの開催となったが、多くのメンバーにご参加いただくことができた。1年間の振り返りであることもあり手馴れてきた感もあったが、気を引き締めて設営することの大切さを改めて認識する例会であった。

⑦ 7月例会

次年度理事長候補者への当選証書授与が行われる特別な例会である7月例会であり、多くのOBの先輩方にもご来場いただき、非常に良い緊張感をもって設営することができた。普段とは違った雰囲気での例会の設営を行うことができたことは、総務委員会全員にとっても良い経験となった。

⑧ 8月例会

会場であるミュールがくと館も2度目の使用であることから前回の反省点を踏まえた設営ができ、スタッフ、新入会員ともに次に繋がる指導や学びがあり、成長を感じた例会であった。

⑨ 9月例会

9月例会では時間に余裕をもって設営を行うことができたため、例会と定時総会のリハーサルも十分に行い臨むことができた。大きな不備は無かったが、細かな改善点は見受けられたので委員会内で十分な振り返りを行い、今後の例会や12月に開催される臨時総会の設営に活かしていくための良い機会となった。

⑩ 10月例会

台風19号の影響により急遽の単独例会となったが多くのメンバーにご参加いただくことができた。災害時であるからこそ安否の確認や近況の報告、青年会議所としての災害時の指針を共有することでより一層メンバー間の絆が深まる例会であった。設営面では多少の不備があり気を引き締めることの大切さを共有できた。

⑪ 11月例会

本年初めて使用する会場であり、事前準備の段階から新入会員、総務スタッフ各々が自分の役割を意識し臨むことができ、当日も滞りなく例会を開催することができた。また、その後行なわれた久米賞・百合子賞授賞式、講演会においても臨機応変な対応をもとめられる場面もあったが、各自が状況を見ながら能動的に行動することができた。

⑫ 12月例会

2019年度最後の例会ということで、多くのメンバーとOBの先輩方にご出席いただくことができ、厳かな雰囲気の中で12月例会を開催することができた。設営においては、本年度最後ということで、総務委員会一同、本年度の集大成として全員が緊張感を持って設営にあたることができ、メンバーの皆様の協力もあり大きなトラブルも無く盛会に終わることができた例会となった。

3. 新年会の設営

多くのご来賓とOBの先輩方をお迎えし、2019年度佐藤理事長体制を対外へ広く発信することが出来た。設営面においては確認不足による不備があったが、メンバー一人ひとりが能動的に動いていただいたお陰で、大きな混乱も無くLOMが一体感を持ってご来場いただいた皆様をお迎えすることができた。新入会員にとっては、この新年会でメンバーの郡山青年会議所現役会員としてのおもてなしの精神や事業に対する姿勢を体感してもらうことができた。

4. 定時総会の設営

① 1月定時総会

1月定時総会では、橋本直樹議長、熊田智一副議長による議事進行のもと開催され、「2018年度決算報告」「2018年度事業報告」をはじめとする重要な議案について諮られたが、メンバーのご協力によりスムーズな議事進行ができ、無事可決承認いただいた。

② 9月定時総会

9月定時総会では、良い緊張感を持ち設営に臨み、OB会会長をはじめとする多数のOB会会員の皆様ご参加のなか、岩澤 暁生議長、橋本 直樹副議長の議事進行のもと、本年度の運動の補正予算、次年度の役員、監事の選任といった重要な議案を承認され、現役メンバーも2020年度のスタートに向け新たな気概を持つことができた。

③ 12月臨時総会

当日は例会・卒業式・送別会との同日開催ということで、非常にタイトなスケジュールのなかで総会が行われ、本名 創議長、鈴木 章弘副議長の議事進行のもと、2020年度に関する事業計画、予算案について全員賛成で審議可決いただくことができた。

5. 会員親睦事業の企画運営

郡山JC文化祭においては我々の最大の理解者であるご家族に、我々の活動や過去の運動に触れていただき理解を深め、家族でJCについて語り合う機会を提供することができた。総務委員会としても新入会員が中心となり行う事業として初めての経験であったが準備に試行錯誤を繰り返しながらも実施に漕ぎ着けることができたことは良い成長の機会となった。

6. 福島ブロック大会inいわき参加引率

本年は、「EVERYTHING IS CHALLENGE」～共に奏でよう新時代への挑戦～のローガンのもと、いわきの地で開催された福島ブロック大会であったが、メインフォーラムや記念式典に参加することで、明日から実践できる話を聞くことができ、現役会員にとって多くの新しい気づきと学びを得る機会となった。また、多くのメンバーにご参加いただき、ブロック協議会へ出向しているメンバーを応援することができた。

7. うねめまつり参加引率

本年度姉妹JC締結45周年を迎える(一社)奈良青年会議所様を郡山へお招きし、新入会員を中心に総務委員会一丸となり、エクスカッションから二次会までしっかりとおもてなしすることができた。新入会員にと

ってもおもてなしの心や奈良JCとの歴史を学びそれを形にすることの難しさや楽しみを持つことで成長にもつながった。また、現役メンバーにおいても姉妹JCとの交流の歴史を学ぶ機会となり今後も続く友情をより深めることができた。設営においては、細かな不備があったが、ご出席いただいたメンバーの皆様の協力もあり、大きなトラブルになることなく終えることができた。

8. 奈良公式訪問参加引率

エクスカッションで訪れた氷室神社では郡山と奈良の薬師寺で採れた梅を使ったシロップでかき氷をいただき、その後の采女祭、懇親会、そして翌日のお見送りまで、(一社)奈良青年会議所の皆様の心温まるおもてなしをいただいた。二日間を通して、参加したメンバーはもちろん、新入会員同士の絆もより深いものとなり、姉妹JC締結45周年という節目を迎え、互いの友情を更に深いものとすることができた。

9. 卒業式の企画運営

本年卒業される7名のご卒業生に対してこれまでのJC活動に対する感謝と敬意を表し、総務委員会一同一丸となり全力で設営にあたった。ご卒業生からこれまでのJC運動に対する想いを伺え、現役メンバーにとってはその想いをしっかりと受け継ぎ、今後のJC運動、活動に取り組んで行かなければならないと再確認する機会となった。多くの現役メンバーとOBの先輩方にご参加いただき盛大に開催することができた。

10. 文書発送作業

毎月15日を基本とし現役会員、OB会会員に事業案内等の文書、広報誌等を発送した。

11. 常任理事会、理事会等諸会議の設営と運営、その他庶務に関する業務

毎月開催された常任理事会と理事会の設営、議事録作成を行なった。

12. 総会資料、会員名簿・名刺の作成

定時総会、臨時総会、会員名簿、名刺の作成を行なった。

13. 会員拡大に関する情報収集

新入会員を中心に次年度新入会員候補者の情報を精査し、実際に声掛けを行なうなどして年間を通じて積極的に会員拡大を図った。

14. その他理事長所信に基づき行う事業

「心を一つに！輝きある未来へ！！～一人ひとりの輝きが郡山を照らす～」のスローガンのもと、総務委員会一丸となり年間運動に邁進してきた。

新入会員は全てが初めてである事業に参加し、体感することで事業の意義や青年会議所の歴史・伝統、精神を学ぶことができた。また、指導するスタッフも主観から客観視することで自らを律し、新入会員へ経験や知識を伝達することができた。次年度以降も適時自分自身が「何ができるのか」「何をすべきなのか」を考え能動的に行動ができ、LOMの根幹を担う人財になると確信している。

最後に、このような機会を与えていただきました佐藤理事長、増子専務、そしてご協力いただきました全ての皆様に御礼を申し上げ、一年の報告とさせていただきます。一年間ありがとうございました。

2019年度 会員開発委員会

委員長 松井 貴紀
副委員長 佐藤 尚弥
副委員長 伊藤 千拓

★委員会スローガン

矜持

～JAYCEEとして、地域と未来を照らす灯火となろう～

★事業方針

JCにとって、地域のリーダーであるという気概をもった青年の育成と会員の拡大は永続的な課題であり、我々郡山青年会議所もその課題を抱えながらJC運動・活動を展開している。未来を創るリーダーの育成と継続した会員拡大を図れなければ、58年もの長きに亘り明るい豊かな社会の実現に向けて邁進してきた組織を失ってしまうことにもなりかねない。そのような危機的状況だからこそ、我々メンバーが「今」だけではなく後世も生きる「未来」をつくり出す意識を持ち、安定した会員拡大をしていく必要がある。

会員開発委員会では、「今」を生きる我々メンバー一人ひとりがJC運動・活動の意義について学ぶ機会を提供することにより、自ら「未来」のために率先して行動するJAYCEEとしての役割を改めて再認識する。また、これまで会員拡大を成功させてきた手法や過去の成功事例をメンバーへ共有し、LOM全体の会員拡大の必要性を認識させ、一人ひとりが会員拡大のメンバーであるという自覚を持つことで安定した会員拡大に繋げることができる。

これらの運動・活動を展開することがJAYCEEとしての矜持を持つメンバーの育成につながり、それぞれがまちを輝かせる人財となる。その光が多くの人を導き、郡山の未来を永遠に照らすのである。

★事業計画 [開催予定月]

- | | |
|---------------------------|----------|
| 1. 京都会議の引率 | [1月] |
| 2. 新入会員オリエンテーション | |
| 並びに現役会員向け会員開発セミナーの実施（室合同） | [2月] |
| 3. 4月例会・チェリーパーティーの企画・運営 | [4月] |
| 4. 会員開発セミナーの企画・運営 | [4月・10月] |
| 5. OB会会員との交流 | [通年] |
| 6. 会員拡大及び会員拡大の取りまとめ | [通年] |
| 7. その他理事長所信に基づき行う事業 | [通年] |

参考：会員募集スケジュール

※面接等個別に進められることは随時対応する。

年月	会員拡大実行内容
2018. 12月	2018年度会員拡大候補者のリスト精査
2019. 1月	個別目標設定・各委員会への紹介ご依頼 リスト作成・配布開始・個別面談・面接実行 (新入会員候補者・現役会員・OB会員に配布)

2月	個別面談・面接実行・リストの充実
3月	会員拡大会議・個別面談・面接実行・リストの充実
4月	会員開発セミナーの実施・個別面談・面接実行・リストの充実
5月	会員拡大会議・個別面談・面接実行・リストの充実
6月	個別面談・面接実行・リストの充実
7月	個別面談・面接実行
8月	個別面談・面接実行
9月	会員拡大会議・個別面談・面接実行
10月	会員開発セミナーの実施・個別面談・面接実行・次年度への引継ぎ
11月	個別面談・面接実行・次年度への引継ぎ
12月	個別面談・面接実行・次年度への引継ぎ

★事業報告

1. 京都会議引率

2019年度新たな方向性を示す日本青年会議所の基本理念・会頭所信を共有する京都会議において、今年一年の方針を享受することが出来た。参加員数目標に達することが出来ず、次年度段階において現役会員への依頼の必要性を改めて感じた。その他引率・設営において不備もあったが、メンバーの皆様のご協力のおかげで無事終えることが出来た。

2. 新入会員オリエンテーション並びに現役会員向け会員開発セミナー

設営の準備不足と突発的な事象も重なり、運営上多くの問題点が発生してしまっただが、ご参加の皆様のアドバイスやご協力もあり、大きな問題にならず事業を終えることが出来た。今回の課題等を次年度へしっかり引き継いで参る。事業内容に関しては、アンケート結果から多くのメンバーよりお褒めの言葉も多く頂戴できた。何のためにこの事業をやるのか、ということ委員会全体で深く考えた結果であると思う。新入会員に郡山青年会議所を知っていただく、そして現役会員との交流を図っていただく貴重な本事業に多くのメンバーのご参加いただき感謝申し上げます。

3. チェリーパーティの企画運営

OB 会会員と現役会員の交流事業として多くの方にご参加いただき盛會に終えることができた。OB 会会員に関しては参加員数計画を達成することができ、事前の電話での出欠確認の効果が表れた結果となったが、現役会員の出席率は60%と低い数字になってしまい、声掛けのタイミングや方法を改めて見直さなくてはならないと感じた。交流の場としては、会員拡大の具体的情報や、東北青年フォーラムに向けての心構え等のお話も多く伺うことができ、大変貴重な時間となった。その他細かい不備はあったが、皆様のご協力のおかげで OB の先輩方々との交流をしっかりと図ることができた。

4. 会員拡大・資質向上セミナーの企画運営

①5月 續大輔氏講演会

資質の向上を図ることを目的とした今回の講演会であったが、アンケートの集計結果を見るとやはり参加したメンバー全員が同じ成果を得ることができたという結果にはならなかった。しかし一見ビジネス要素が強い内容の中にも、JC運動・活動への活かし方を感じたメンバーも多くおり、今後のJC運動・活動を展開する際に多面的思考をもって取り組める人材が増えると確信している。設営面において至らない点多々あったが、メンバー全員ご協力のおかげで大きなトラブルもなく終えることができた。

② 11月上田博和氏講演会

現役会員の資質向上、そして新入会員候補者へJCを認識させ入会への足掛かりにする目的を持った講演会であったが、参加者が予定人数に満たず、完全に目的を達成したとは言えない結果であった。しかし参加者の意見を拾ってみるとほぼ全員に新たな気付き・発見がありそれを行動へ移そうという意識が芽生えたという効果もあり、少ない人数ながらも未来へ向けた新しい一歩を踏み出せたのではないかと思う。当初の日程の急な変更等で現役会員の皆様には、この大変な時期に、大きな負担を強いることとなってしまった。それにもかかわらず、自身の資質の向上と会員拡大目標達成のために数多のご尽力を賜り感謝申し上げます。

5. 会員拡大及び会員拡大の取りまとめ

次年度段階から各メンバーからの紹介という形でリストを作成し、前年度からの引き継ぎリストを精査しながら拡大運動を展開した。また今年度はOB会員との交流会に多くの先輩にお越しいただき多くの情報を頂戴することができ、新たな候補者へのアプローチから入会に繋げることもできた。また全3回の拡大会議で各委員会それぞれの立場での拡大に対する意識の確認、共有をすることができた。入会年数によって考え方に違いがありその共有ができたことは非常に有意義であった。拡大に関しては37名の計画に対して10名の入会という非常に不甲斐ない結果になってしまった。

6. その他理事長所信に基づき行う事業

2019年度は会員の資質の向上を目的とした事業を展開した。思考を変え、まず一歩踏み出してもらうことを目的とした講演会を開催し、参加メンバーからJAYCEEとしての「今」するべきことを再認識したというご意見を頂き、概ね目的の達成はできたと考える。そして会員開発委員会としての担いの柱となる会員拡大については、37名の目標に対して10名の入会、達成率は27%という低い結果となってしまった。反省点は多くあったが、しっかり検証し次年度の会員開発委員会へと引き継いで参る。一年を通じてご協力を頂いた現役会員の皆様には改めて感謝申し上げます。

2019年度 広報渉外委員会

委員長 真山 祐一
副委員長 佐藤 研一

★委員会スローガン

きらめき☆ときめき

～人の輝きがまちに共感を広げる～

★事業方針

情報発信ツールの多様化によって、伝えたい相手を想定した上でツールを選択し、より発信力を高めることが可能となった。一方、情報は溢れ返り、その中でより際立つ情報発信を迫る必要がある。また、我々は公益社団法人として積極的に情報公開を行うことで社会的信頼を構築するとともに、郡山青年会議所が実施する一つひとつの事業に込められた想いを多様な市民に伝えていくことが求められている。

想いは「人」に宿り、「人」を通じて伝わる。だからこそ「人」に光を当てた情報発信に取り組み、郡山青年会議所の想いがより際立つような発信を行う。また、私たちが実施する事業に市民を巻き込みながら「人」の繋がりを通じて、郡山青年会議所の想いを伝えていく。

広報誌やホームページ、SNSを活用した情報発信においては、正確性や速報性ととともに、より共感が生まれるコンテンツとして、JAYCEEの人間性がにじみ出るような特集企画に取り組み、さらに、動画による発信に力を入れ、SNSにおける拡散力の向上に繋げる。また、行政や関係諸団体、多くの市民と連携しながら、市民一人ひとりが輝く人材に成長していくための気づきの機会を提供するとともに、私たちが地域課題と向き合い、身近な資源に光を当てて地域活性化に貢献することで市民との繋がりを広げる。

「人」が輝く広報渉外活動によって郡山青年会議所の想いが際立ち、その想いが「人」から「人」へと伝わっていくことで郡山青年会議所に対する共感の輪を大きく広げ、市民から期待される輝きある組織へと繋げていく。

★事業計画〔開催予定月〕

- | | |
|---|-------------|
| 1. 新入会員オリエンテーション並びに
現役会員向け会員開発セミナーの実施（室合同） | 〔2月〕 |
| 2. 3月例会・「青木仁志氏講演会」の企画・運営 | 〔3月〕 |
| 3. 全国大会富山大会引率 | 〔10月〕 |
| 4. 広報誌発刊 | 〔1・5・8・12月〕 |
| 5. 道路愛称公募事業の企画 | 〔2～8月〕 |
| 6. メールアドレス・メーリングリストの管理 | 〔通年〕 |
| 7. LOM事業の取材 | 〔通年〕 |
| 8. 会員拡大に関する情報収集 | 〔通年〕 |
| 9. ホームページの作成・運営管理 | 〔通年〕 |
| 10. 広報・渉外活動全般 | 〔通年〕 |
| 11. その他理事長所信に基づき行う事業 | 〔通年〕 |

★事業報告

1. 新入会員オリエンテーション並びに現役会員向け会員開発セミナーの実施（室合同）
基礎研修等を通して、新入会員はもとより現役会員にとっても新たな気づきと学びの機会となった。（公社）日本青年会議所ヘッドトレーナーの大阿久友伸君による「VF(Visual Future)セミナー」は、会社や地域を牽引するリーダーに成長するために有意義な内容であり、参加者のニーズとも合致する内容であった。

2. 3月例会・「青木仁志氏講演会」の企画・運営

多くの市民に会場いただき、能動的に行動できる人材に成長するために必要な自信を育むための気づきの機会を提供することができた。アンケート結果では、96%の来場者が能動的に行動する自分へと成長するために役に立ったと答えており、また、具体的な取り組みを自由記入欄に記載している方も多く、市民一人ひとりの当事者意識を育み、能動的な市民が主役となって活躍するまちへと発展させるとの郡山青年会議所の想いを市民のニーズに合致さ

せて提供することができた。講演会への満足度は高く、「目的」や「目標」、「セルフカウンセリング」などの自分自身を省みる言葉の自由記入が多数見受けられ、参加者が自分事として受け止めることができる講演内容であった。

現役会員にとってもセルフカウンセリングなど、今後のJC運動・活動に活かせる手法を学ぶ機会となり、今回のような講演会を求める声や郡山市の魅力や課題などを発信し市民の意識を高めてほしいなどの声が寄せられ、現役会員一人ひとりが郡山の輝きある未来へ向けて行動する先駆者であり、発信者であるとの自覚を深めることができた。

3. 全国大会富山大会引率

「持続的発展」を牽引するリーダーシップを育む今大会であったが、その多くのファンクションが台風19号の影響により中止となり、また、卒業生の皆様にとって貴重な機会を逸してしまったことは大変に残念であった。一方、緊急時における対応への適応という点においては、多くのメンバーが情報収集や判断の決定に携わることで結果として多くの学びを得る機会となった。

4. 広報誌発刊 [1. 5. 8. 12月]

理事長スローガンに基づき「Spotlight」と題して、郡山青年会議所の想いを伝えることを常に意識し、年4回の広報誌を発刊した。理事長対談として5月号では「SDGsがひらく輝きある未来～SDGsプレイヤーによるクロストーク～」、8月号では「多子社会の実現とJC～持続可能な社会をめざして～」を企画し、社会課題をテーマにすることで「心をついに！輝きある未来へ！！～一人ひとりの輝きが郡山を照らす～」との2019年度スローガンに込められた想いを表現することができた。また、動画コンテンツに取り組み、ホームページと連動した情報発信を行うことができた。

5. 道路愛称公募事業の企画

道路管理者である福島県や関係自治体及び諸団体、審査員予定者等と協議を重ね事業計画作成を進めたが、諸般の事情により事業実施に至ることができず残念であった。ただし、郡山青年会議所から発信された問題提起には多くの共感の声が寄せられ、地域課題に向き合い、地域活性化に貢献しようという郡山青年会議所の想いをわずかながら発信することができた。

6. メールアドレス・メーリングリストの管理

2019年度現役会員向けの各メーリングリストの作成や管理を行った。メールアドレスの変更があった際にも迅速に対応できた。

7. LOM事業の取材

郡山青年会議所が実施する各事業の他、遠征やオブザーブ等の取材活動を行った。記録写真は各事業の内容がより伝わるよう心掛け、また記念撮影は速やかに行えるよう各委員会と連携を図った。

8. 会員拡大に関する情報収集

ホームページにおいて会員募集要項を掲載し会員募集を呼びかけた。ホームページを通じて入会を希望する問合せがあり入会に繋がった。

9. ホームページの作成・運営管理

ホームページによる活動報告などの発信や各委員会と連携した事業告知を行った。また、「SDGs」や「多子社会」といった社会課題に関する特集企画を広報誌と連動して掲載することで、より多くの方に郡山青年会議所の想いを発信することができた。特集については動画コンテンツにも取り組み、広報誌とホームページを連動させる仕掛けを作ることができたが、その発信方法についてはさらなる工夫が必要であった。

10. 広報・渉外活動全般

広報誌やホームページによる活動報告や事業告知を通じて幅広く情報発信を行うとともに、特集企画において「SDGs」や「多子社会」という社会課題をテーマとした意見交換の場を作り、行政や関係諸団体との連携を深めながら、市民に共感の輪を広げることができた。また、報道機関への新年挨拶訪問を行った。

最後に、「心をついに！輝きある未来へ！！～一人ひとりの輝きが郡山を照らす～」との理事長スローガンに込められた郡山青年会議所の想いを多くの市民に伝えることを念頭に置き、広報誌の発刊やホームページの運営、青木仁志氏講演会の企画・運営などに取り組んできましたが、どれ一つとってもメンバーの皆様の協力なしには成し得なかったことであり、多大なるご迷惑をお掛けしたことをお詫び申し上げます。心より御礼申し上げます。ただ、道路愛称公募事業が諸般の事業により実施することができなかったことが心残りではありますが、それも一つの貴重な経験となりました。

1年を通じて私を含め広報渉外委員会各位にとって得難い貴重な経験となりました。このような機会を与えてくださった佐藤拓也理事長、増子陽専務理事に深く感謝申し上げます。

2019年度 まちづくり委員会

委員長 本多 利幸

副委員長 坂本 皓亮

★委員会スローガン

承前啓後

～人と人の心が繋がる郡山の未来のために～

★事業方針

近年、住民の地域社会への帰属意識の希薄化などから、もとよりある郡山の様々な文化の輝きが弱まっていくおそれがあり、これら地域の文化の活性化は喫緊の課題である。

郡山青年会議所は、これまで多くの事業を通してまちづくり運動を展開し続けてきた。我々はその知識と経験を活かし、行政や地域団体と連携することで異なる地域住民同士が交流できる場を創出し、地域の垣根を超えて多様な文化を発信しあえる事業を展開する。そのために、音楽を始めとする様々な文化の力を用いて、互いの隔たりを無くし、そこに集った多くの人々が心を躍らせ、心をつにして互いの文化の魅力を発信し合う。

このような運動・活動を通して、人と人の心が繋がり多様な個性や価値観が共存し合いそれぞれの文化が輝き、その輝きが重なり合うことで新たな文化が生み出される。そして、多様な価値観を受け入れる土壌を創ることで、一人ひとりが主役となって輝くことができるユニバーサルシティ郡山となり、明るい豊かな社会へ繋げる。

★事業計画〔開催予定月〕

- | | |
|---------------------|------|
| 1. 5月例会・文化交流事業 | 〔5月〕 |
| 2. サマーコンファレンス引率事業 | 〔7月〕 |
| 3. 文化交流事業・清掃活動 | 〔9月〕 |
| 4. 会員拡大に関する情報収集 | 〔通年〕 |
| 5. その他理事長所信に基づき行う事業 | 〔通年〕 |

★事業報告

1. 5月例会並びに輝け！郡山の魅力サミット～新たな可能性の創出へ～

今回の事業を通して、参加団体の活動を発信したことによって郡山にある各団体の活動内容を知る機会となった。また、参加団体の方々からアンケートの記載や礼状を手渡しした際にヒアリングをしたことで、事業に対しての意見を伺うことができた。それにより今回の事業を経て他団体の活動に興味関心を持っていただき、コラボの実演を見ていただいたことで参加団体に新たな可能性感じていただいた。今後、他団体と協働してイ

メントやコラボなどを行っていくことで、各参加団体の活動範囲が広がり参加団体と繋がっていくことができる機会となった。

2. サマーコンファレンス参加引率

本年度は「World SDGs Summit」をテーマに開催された2019年度サマーコンファレンスに参加したことで、各界を代表する有識者の方々による様々なセミナー・フォーラム等を受講し、社会に新たな価値を創造して持続的にインパクトを与える手法や、SDGsを推進することを学び、郡山における更なる地域活性化に向けた運動を展開するための気づきを得ることができた。

3. ユニバーサルフェスティバル2019～音楽とスポーツでつながる郡山～

本年度で3回目の開催となったユニバーサルフェスティバルでは、音楽ステージだけでなく、体験型を中心として出展ブースを設けたことで、老若男女問わずスポーツと音楽によって人と人とが繋がり、様々な文化を共有したことで新たな文化の創造の機会となった。また、郡山の魅力に触れ合い市民一人ひとりが主役となっていたことで、地域に対する興味、関心を更に深めることができた。

4. 会員拡大に関する情報収集

会員拡大に関する情報共有や候補者などを委員会で議論を交わした。また、当委員会が開催したユニバーサルフェスティバル2019の事業では、多くの市民の方々に参加いただいたことで、郡山青年会議所の運動を発信できたことで会員拡大に繋がった。

5. その他理事長所信に基づき行う事業

本年「承前啓後 ～人と人の心が繋がる郡山の未来のために～」をスローガンに、まちづくり委員会心をつにし、郡山青年会議所の運動に邁進してきた。本年度は新たな文化の創出を生み出すべく、多くの市民や行政、諸団体を巻き込み、運動を展開してきた。その中でも、「ユニバーサルフェスティバル2019～音楽とスポーツでつながる郡山～」においては、郡山の魅力である音楽と老若男女問わず誰もが楽しむことができるスポーツをコラボしたことで、異なる文化の交流や多様な価値観の共有を図り、それにより新たな文化が生み出され、地域に対する興味や関心を深めていただけたと感じている。そして今後の郡山において、人と人との繋がりが波紋のように広がっていくことで、それぞれの文化や市民一人ひとり輝き続けられることに繋がっていく。その為にも、我々青年会議所の運動は歩み続け、未来に引き継いでいかなければと感じている。

最後に令和という新時代の幕開けのまちづくり委員長という貴重な機会を与えていただいた、佐藤理事長、そして増子専務、様々な場面においてお力添えをいただいた、全てのメンバーに心から心から御礼を申し上げます。1年間本当にありがとうございました。

2019年度 青少年育成委員会

委員長 芝田 銀平

副委員長 渡邊 晃

★委員会スローガン

Connect

～ 繋げよう 輝く未来へ ～

★事業方針

現代の子どもたちは共働きの増加、少子化や核家族化によって、地域社会において多くの人々との交流が減少している。その結果相手を思いやる心を育む機会が減り、郡山を牽引するリーダーへと成長することが以前より難しくなっている。

そこで、青少年育成委員会では関係諸団体と協力し、子どもたちが幅広い年代の人々との交流を通して楽しみながら助け合う大切さを体験し、学ぶ事業を実施する。また、「久米賞・百合子賞」では作品を作ることを通して、相手に想いを伝える力を育み、「わんぱく相撲」では礼を学び、相手を思いやる機会を提供する。様々な体験をすることで助け合いの心を育み、相手を思いやる子どもへと成長する。

様々な体験を積み重ねることによって他者に関心を持ち、相手を思いやる心を持った子どもになる。その子どもたちが成長することで、相手を思いやる心を持って次世代のリーダーへと成長し、郡山の輝く未来へと繋がっていく。

★事業計画〔開催予定月〕

- | | |
|--|---------|
| 1. 第58回「久米賞・百合子賞」実行委員会の設置 | 〔2月〕 |
| 2. 第54回郡山市こどもまつりへの参画 | 〔5月〕 |
| 3. わんぱく相撲郡山場所・福島ブロック場所の開催
全国場所・全国女子場所への参加引率 | 〔5月～8月〕 |
| 4. 青少年育成事業の開催 | 〔7月～8月〕 |
| 5. 東北青年フォーラム in 能代参加引率 | 〔9月〕 |
| 6. 11月例会・第58回「久米賞・百合子賞」授賞式 | 〔11月〕 |
| 7. 会員拡大に関する情報収集 | 〔通年〕 |
| 8. その他理事長所信に基づき行う事業 | 〔通年〕 |

★事業報告

1. 第58回「久米賞・百合子賞」実行委員会設置

本年は小説58作品、詩52作品、総数110作品の応募をいただいた。実績として昨年度を下回ってしまったが百合子賞小説部門において1作品正賞を選出いただいた。本年度の傾向として、LGBTや医師の過労等現代の問題がテーマとなった作品が多く、今現在を表現した作品となった。授賞式においては芥川賞作家の柳美里氏をお招きし「物語の書き方と福島への想い」と題し、物語の書き方についてご講演いただいた。しかしながら、事業を通して事前の準備不足や確認不足、配布資料の誤植があった。しっかりと検証を行い次年度の「久米賞・百合子賞」の継承発展に繋げてまいる。

2. 「第54回郡山市こどもまつり参加」

当日は晴天に恵まれ、最後まで列が途切れない大盛況の裡にビックリコーナーを終えることができた。お菓子釣りではコーナー終了まで子どもたちの笑顔に溢れ、かぶと折りでは作成を通して親子のふれあいを演出し、写真撮影スポットを活用していただき子どもたちの思い出を作ることができた。しかしながら、お菓子釣りゲームとかぶと折りの体験人数が同程度と想定していたためお菓子釣りのお菓子の準備が間に合わず、参加していた皆様に多大なご協力をいただくこととなった。また、お菓子釣りについてはうまく列が捌けず、例年より体験した一般来場者数が少ない結果となってしまった。PRブースでは（公社）郡山青年会議所の運動や活動を写真やパズルにより掲示し、市民の皆様へ発信することができた。

3. 「わんぱく相撲こおりやま場所・福島ブロック大会開催及びわんぱく相撲全国大会・女子全国大会参加」 こおりやま場所から全国大会終了まで、メンバーの皆様及び大会関係者の方にご協力をいただき、無事に開催

できた。こおりやま場所においては、多くの子どもたちに参加してもらい、相撲を通じて相手を思いやる心を育み、こおりやま場所で勝ち残った男子6名、女子3名に関しては、福島ブロック大会へ出場を果たし、見事男子5名、女子1名が上位に入賞し全国大会への切符を手にした。全国大会は、男子大会が事業と重なってしまいメンバーの参加は叶わなかったが遠方ながら大会関係者が応援に駆け付けて下さり、地域一丸となって応援を行うことができた。事業を通じて、参加した子どもたちへ課題を見つけ、乗り越えることの大切さ、相手への思いやりの心、地域に暮らす人々との世代を超えたコミュニケーションの大切さを伝えることができた。

4. 「スマイル・キッズ・チャレンジ～わくわく！防災思いやりキャンプ！～」

事前説明会では参加者全員の出席とはなかったが、参加者にはキャンプに参加することの意義や当日の準備物や緊急時対応策を伝えることができた。事業へ参加する子どもたち同士のコミュニケーションの場として、グループワーク・講習を通じ、キャンプのプログラムの理解につながった。キャンプ当日は、グループワークを通して楽しみながら防災を学び、協力することの大切さや思いやりを伝えることができたことをアンケートから知ることができた。キャンプの最後には協力して一つのプログラムに一致団結して取り組む姿が見られ、防災で一番必要な共助の精神を育むことができた。

5. 「2018年度東北青年フォーラム in 能代参加引率」

東北青年フォーラム in 能代へ多くのLOMメンバーより、ご登録並びに現地に足を運んでいただいた。「奮い立て！～まちに寄り添い より能く東北を代え 心躍る未来を創ろう～」のスローガンのもと開催された本大会に参加し、秋田県能代市の復興の歴史や地域との関わりに触れることができ、能代の地が織りなす「より能く代える」精神と文化を体現しながら、主に落合博満氏のご講演や体験型防災アトラクション等々、持続可能な社会へ向け当事者意識が奮い立つ素晴らしい東北青年フォーラムだった。オブザーブ参加ではあったものの、役員会議において2021年度の東北青年フォーラムが郡山に決定した瞬間に多くのメンバーと立ち会い、東北青年フォーラム開催に向け改めて意識統一を図れたと感じた。また、東北地区協議会へ出向しているメンバーへの支援についてもしっかりとすることができ、郡山青年会議所の団結力の強さを対内外に発信できた大会であった。

6. 第58回「久米賞・百合子賞」授賞式の実施

本年は小説部門百合子賞より正賞を一作品輩出することができた。講演会では柳美里様に「物語の書き方と福島への想い」と題し講演いただいた。受賞者を始めとする中学生が熱心にメモを取り、積極的に質問する姿はととも印象に残った。反省点については次年度へしっかりと引き継ぎをし、半世紀以上継続しているこの文学賞をさらに発展させていきたい。

7. 「会員拡大に関する情報収集」

多くの団体の方々と青少年育成の事業を通じて交流を図り、新入会員候補者の情報を収集し、積極的に会員拡大のため声掛けを行い、情報共有を図った。

最後に「Connect～繋げよう 輝く未来へ～」の青少年育成委員会スローガンのもとに、郡山の未来を担う子どもたちに対して、思いやりの心を持った次世代のリーダー育成を目標に、この1年間充実した青年会議所運動活動を展開した。委員会メンバーに支えられ、委員会一丸となってすべての事業を終えることができた。また、事業を成功に終えることができたのはLOMメンバーの皆様にご支援ご協力いただいたからこそだと思っている。最後になるがこのような貴重な機会を与えてくださった佐藤理事長、そして増子専務に心から御礼を申し上げる。

特別委員会報告

選挙管理委員会
委員長 門 脇 真
副委員長 橋 本 有市
委員 大 戸 亮平
委員 川 島 弘靖
委員 久 保 田 雄大

公益社団法人郡山青年会議所令和2年度理事長選挙に先立ち、7月1日に第1回選挙管理委員会を開催し、委員の互選にて正副委員長を選出した。

「公益社団法人郡山青年会議所定款」第29条並びに「公益社団法人郡山青年 会議所役員選出に関する規定」に基づき、下記日程の通り選挙を実施した。

- | | |
|-----------------------------|-----------|
| 1. 選挙告示文書の発送 | 7月02日 |
| 2. 令和元年度選挙人名簿の作成 | 7月10日 |
| 3. 第2回選挙管理委員会 | 7月16日 |
| 4. 選挙権・被選挙権を有しない会員への告示文書の発送 | 7月16日 |
| 5. 立候補届出受理期間 | 7月13日～15日 |

結果、柳沼克郎君1名の立候補があり、「公益社団法人郡山青年会議所役員選出に関する規定」第13条に従い、厳正なる審査の結果、柳沼克郎君を当選人とし、7月16日をもって当選告示し、7月25日の公益社団法人郡山青年会議所7月例会の席にて当選証書を授与した。また、9月24日の9月定時総会にて、当選人の報告をした。

褒 賞 委 員 会
委員長 大 槻 俊介
委員 佐 藤 怜
委員 伊 藤 和樹
委員 柳 沼 克郎
委員 松 川 義行

公益社団法人郡山青年会議所褒賞規定に基づき、下記のように各褒章受賞者及び受賞委員会を決定し、令和元年12月14日の12月例会の場において表彰を行った。

本年度の褒賞各賞は、委員会、例会、事業の出席率、新入会員のセクレタリー回数という客観的データはもちろんのこと、各室長並びに委員長より提出された申請書記載の推薦理由を総合的に評価した上、褒賞委員会での厳正なる審査によって選出した。

本年は、理事長賞として「エスブランド賞」を設け多くのメンバーを対象とさせていただき、現役会員の意識向上並びに対内活性化を図ったところである。また、褒賞委員会においては、最優秀新人賞受賞者を選出するかどうか議論されたが、例年の最優秀新人賞受賞者の事業出席率との比較等を行った結果、残念ながら本年度の最優秀新人賞受賞者は該当者なしとの結論となった。この点については、次年度以降の奮起に大いに期待したい。

今回の選考に当たっては、各委員会にメンバーの出席率の集計や受賞者の推薦をいた

だくなど多大なる御協力をいただいた。御協力いただいた全ての皆様へ心より御礼申し上げます。

記

【最優秀 JAYCEE 賞】	長尾 宗一郎 君
【優秀 JAYCEE 賞】	矢吹 瞬 君
	黒田 大輔 君
【最優秀グループ賞】	青少年育成委員会
【優秀グループ賞】	まちづくり委員会
【最優秀新人賞】	該当者なし
【優秀新人賞】	織田 陵平 君
	渡邊 周人 君
【エスブランド賞（新人）】	飯島 悠希 君
	望月 俊弥 君
【エスブランド賞】	吉成 透 君
	鈴木 章弘 君

会 員 選 考 委 員 会
委 員 長 二 瓶 一 嘉
委 員 門 脇 真
委 員 根 本 太 介
委 員 松 井 貴 紀
委 員 増 子 千 晶
委 員 矢 吹 瞬
委 員 桑 原 美 奈 子

本年度は、入会候補者の意志が確認された後に、速やかに面接及び会員選考委員会を開催した。面接は公益社団法人郡山青年会議所会員資格規則第2章正会員の入会に基づき行い、会員選考委員会にて厳正に審査を行った。その結果として、2020年度の正会員として新入会員10名を当青年会議所の会員として適格と認め理事会にて承認をいただいた。

尚、2020年度正会員の新入会員は以下の通り。

阿部 圭祐君、渡辺 雅彦君、大越 惇平君、江崎 健太君、遠藤 貴司君、
高橋 宏一君、菅野 展寛君、堀川 武尊君、高橋 章太君、大橋 俊博君

出向者報告

(公社) 日本青年会議所

渉 外 委 員 会
委 員 伊 藤 和 樹

はじめに、公益社団法人日本青年会議所 渉外委員会に出向させていただきましたことに佐藤理事長をはじめとするメンバーの皆さまに感謝申し上げます。

渉外委員会は、日本青年会議所の会頭並びに役員が国内外の諸会議や諸大会において職務を円滑に遂行できるよう関係するすべての会議と委員会や協議会と連携し、スケジュールや会場などの情報を迅速に把握し共有することで、諸会議や大会に集中できる環境を構築することを目的とした委員会です。

渉外委員会のメンバーとして鎌田会頭、石田副会頭をはじめとする日本青年会議所の役員の皆様と行動を共にしたことで、日本青年会議所の基本となる理念や運動指針などを学ぶ機会をいただきました。また全国から出向をしている意識の高いメンバーと一年間を共にしたことで非常に貴重な経験をすることができました。この出向で得た経験を、今後も青年会議所の運動・活動に活かしていくことをお約束し、出向者報告とさせていただきます。一年間、本当にありがとうございました。

サマーコンファレンス運営特別委員会
委 員 柳 沼 勝 恵

本年度、公益社団法人日本青年会議所 サマーコンファレンス運営特別委員会に出向させていただきました。まずはこのような機会をいただき、佐藤理事長をはじめ、メンバーの皆様感謝申し上げます。

日本青年会議所、最大の運動の発信の場となるサマーコンファレンスですが、本年度は「World SDGs Summit」の開催テーマのもと例年にない新たな手法を多く取り入れ開催されました。このような大きな大会の運営に委員として携われたことは、私にとって非常に大きな経験となりました。また全国各地から集まる出向者の皆様との出会いもよい刺激になり、今後につながる学びの多い一年となりました。

このような素晴らしい機会をいただき、経験させていただいた全てを、まずは直近に控えた東北青年フォーラム主管という大きな節目にむけ、しっかりとLOMに還元できるよう今後活動してまいります。このような素晴らしい機会をいただきありがとうございました。

価値デザイン会議
委 員 長 尾 宗 一 郎

2019年度公益社団法人日本青年会議所 経済グループ 価値デザイン会議に出向させていただけたこと、佐藤拓也理事長をはじめといたしますLOMの皆様感謝申し上げます。

価値デザイン会議では「価値をデザインできる企業の創出と持続性のある経営人材の育成」を目標にビジネスコンテスト、企業支援プラットフォーム、ビジネスマッチング、価値デザインシートの活用に向けた勉強会、SDGsを取り入れた事業構築のアイデアなど多くの運動を行ってきました。

私自身が初出向ということもあり知らないことの方が多くはじめは不安もありましたが、出向先で多くの仲間と出会い新たな価値観や考え方を学べたことが何事にも代えがたい私自身の経験になりました。今後はこの学びを活かしLOMに還元していけるよう活動してまいります。1年間ありがとうございました。

東北ゼミナール委員会
会務担当副会長 大槻 俊介

本年は(公社)日本青年会議所東北地区協議会 東北ゼミナール委員会 会務担当副会長として出向させていただきました。初めての東北地区協議会出向でありながら、このような大役を担わせていただくことに緊張感を持ちながらスタートを切った日を、つい先日のことのように感じております。

庭会長の掲げる基本理念であります「誰もが挑戦できる 結の精神溢れる東北の実現」のもと、東北ゼミナール委員会では「JAYCEEとして地域を牽引する覚悟と胆識を兼ね備えた圧倒的な人材の育成」を基本方針として東北地区協議会77LOMの未来を担う人材育成に全力で取り組みました。中でも新たな取り組みとして、従来の副委員長輩出LOMの活動エリアでの委員会開催に拘ることなく、次年度青年フォーラム開催地である南陽市での開催を行い単年度制でありながらも連続性を意識した設えと致しました。また例年になく量の課題をゼミ生に課した一年でありましたが、OODAループに重きをおいた素早い観察、仮説、検証を繰り返すことでスキルアップを図ることができました。2020年度へ多くの理事長を輩出できたことが、本年の東北ゼミナール委員会としての担いをしっかりと果たせた結果であったと嬉しく思っております。

東北青年フォーラムにおいてはメインフォーラムを担当させていただきました。落合博満氏に「未来を切り開くチカラ」と題し、自身が未来を切り開くには、そして未来を切り開く人材を育成するにはどうすべきかという二つの視点からご講演いただきました。「オレ流」と称された落合氏の考え方に触れることで、多くの皆様の考え方が変化する機会となりましたなら幸いです。しかしながら運営側としては大幅な時間の超過、テーマから逸脱したクロストークなど大きな課題を残した結果となってしまいました。どれだけ打ち合わせを行っても当日何が起きるかわからない、いつになっても試練は訪れると改めて実感しました。

東北ゼミナール委員会は、東北地区協議会77LOMの次世代を担う優秀な人材と交流できる素晴らしい委員会でした。会務担当副会長として関わらせていただきましたが、私が一番勉強させていただいた一年だったと感じています。このような貴重な機会をいただいた佐藤理事長、そして支えてくださった現役会員全ての皆様に感謝を申し上げ、年次報告とさせていただきます。ありがとうございました。

事務局次長 新田 義幸

はじめに2019年度(公社)日本青年会議所 東北地区協議会 事務局次長として出向させていただき、佐藤理事長をはじめとするLOMメンバーにはご支援、ご協力いただきまして深く感謝申し上げます。

初めての地区出向ということで、不安と緊張のスタートでしたが東北地区に共に出向している事務局のメンバーに助けられながら1年間担いを務めることができました。

出向することによって、出向しなければわからないことや郡山青年会議所がどのように見られているのかなど再確認できる機会でもありました。各種会議では地区の活動をどう発信していくのかを真剣に議論し意見する場に入れたことは私にとって刺激になりこれからのJC活動に繋がる経験になりました。

今回このような貴重な経験をさせていただき、大槻会務副会長には大変お世話になりました。今回経験したことを生かし、今後のJC活動運動に繋げていきたいと思いを。1年間本当にありがとうございました。

東北青年フォーラム運営委員会
副委員長 二瓶 一嘉
幹事 久保田 雄大

はじめに本年度、(公社)日本青年会議所 東北地区協議会 東北青年フォーラム運営委員会に出向の機会をいただき、佐藤理事長はじめメンバーの皆様にご心より感謝申し上げます。また、東北青年フォーラム in 能代大会では、郡山青年会議所全てのメンバーの皆様からご登録いただきましたことに改めて感謝申し上げます。

本年は、「奮い立て！～まちに寄り添いより能く東北を代え心躍る未来を創ろう～」のスローガンの下、一人ひとりの意識を変革し、ポジティブな変革を巻き起こす東北の実現のために、東北地区協議会最大の運動の発信の場を活用し、多くの市民を巻き込み、我々の運動を開催地である能代から東北各地へ運動を広めることができたと思いを。

私が担当させていただきましたクロージングセレモニーでは、東北青年フォーラム in 能代で得た気づき・学びを振り返り東北各地でポジティブな変革を巻き起こすためには、自身が能代の伝統や文化に触れ体感する必要があると考え数多く能代の地へ足を運ばせていただきました。また、委員会メンバーや一般社団法人能代青年会議所川間理事長をはじめとする能代JCのメンバーの皆様と交流をし、主管青年会議所の想いを感じ、ともに大会を創り上げるという共通意識を持ち事業構築にあたることができました。東北青年フォーラム in 能代の各ファンクションでそれぞれの新たな気づき・学びの機会があり、参加したメンバー一人ひとりが自らの成長を感じ、胆識を持って挑戦し続け、結の精神溢れる東北の実現へ向けて意識の変革を出来たものと感じています。能代から南陽の地へポジティブな変革を巻き起こし、そして郡山の地へ受け継がれていくためにも、更なる自己成長へと励み、2021年の郡山開催へ向けてしっかりと準備を進めていきたいと思いを。

最後に多大なるご支援並びにご協力いただいた全ての皆様にご心より感謝申し上げます。1年間ありがとうございました。

東北ゼミナール委員会
委員 黒田 大輔

はじめに(公社)日本青年会議所 東北地区協議会 東北ゼミナール委員会へ出向させていただいたこと佐藤理事長はじめメンバーの皆様にご心より感謝申し上げます。

東北ゼミナール委員会では「JAYCEEとして地域を牽引する覚悟と胆識を兼ね備えた圧倒的な人材」となるべく東北六県を巡りながらリーダーシップ、地方創生、会員拡大、JCについてと様々なことを学びながら東北青年フォーラムに向けて地域経済ビジョンを策定いたしました。また将来の理事長を育成する場ということでJC歴の長い経験豊富で優秀な仲間たちと切磋琢磨するという大変貴重な経験、成長の機会をいただきました。今後は東北ゼミナール委員会ですんだことを活かしLOMへ還元できるよう頑

張っていきたいと思います。一年間ありがとうございました

総務広報委員会
委員 武田 淳
委員 鈴木 章弘

この度は東北地区協議会への出向の機会をいただき佐藤理事長をはじめとしますLOMの皆様に感謝申し上げます。

総務広報委員会では各地東北地区での諸会議をはじめ、遠征先での地区ナイトや東北地区協議会での卒業式の設営、議事録の作成等様々な役割をいただきました。この1年間の活動の中で様々な経験を積ませていただき、多くのメンバーとの出会いの機会もいただくことができました。

この多くの出会いと経験をこれからのJC活動と来たる2021年東北青年フォーラムの開催に向けても役立てられるように、今後も各種活動に邁進していきたいと思えます。1年間ありがとうございました。

会 員 拡 大 委 員 会
委 員 本 名 創

本年度、福島ブロック協議会 会員拡大委員会に出向させていただき、心より御礼申し上げます。

本年度はJ C運動、活動に充てる時間の確保がうまくいかず出向委員会への出席がままならない状況ではありましたが、他LOMの歴代理事長が多く在籍する委員会への出向という貴重な経験をさせていただき、大変勉強になりました。出向の中で得たことを今後LOMに生かしてまいります。

またLOMの皆様にも多大なるご支援、ご協力を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。一年間ありがとうございました。

ふくしまの未来創造委員会
委 員 樽 川 明 広

2019年度、福島ブロック協議会 ふくしまの未来創造委員会に出向させていただきありがとうございました。

7月6、7日にいわきの地で行われた「ブロック大会 in いわき」に於いてはメインフォーラムを当委員で設営担当させていただきました。毎年増加傾向にある、福島県の医療・介護費用に着目したパネルディスカッションから、ライザップのトレーナーを招いて日々の食生活や運動習慣を変えるワークショップを行い、LOMからも多くのメンバーに参加いただきました。

その他にも、HUG（避難所運営ゲーム）訓練を県内5か所で行い官民一体となった防災意識の向上を呼び掛けました。

昨年、10月に県内を襲った台風19号の影響により、実際に避難所が設営される自治体が発生しました。後日訓練を行った自治体からも、もっと積極的にHUG訓練事業に参加しておくべきだったとお声もいただき、重要な活動だったと振り返ります。

この経験を活かし、今後LOM内に於いても積極的に防災意識の向上に繋がる発信をして参ります。

最後になりますが、出向の機会を下さった佐藤理事長をはじめとする現役会員の皆様に心より御礼申し上げます。

ブロック大会実行委員会
委 員 吉 成 透

2019年度は「第49回福島ブロック大会 in いわき」を7月6日・7日、いわきの地にて開催をいたしました。

本年度初めて出向を経験させていただき他のLOMメンバーと交流を深める中で改めて郡山J Cの意識の高さやどのような評価をされているのかを直に感じ、誇らし気持ちと同時にプレッシャーを感じながら委員会に参加しておりました。

ブロック大会が終了すると委員会活動がほとんどありませんが、大会に至るまでの期間はとても濃厚であり、また仲間と共に大会を成功させ、無時終了した瞬間の安堵と達成感は一生涯忘れられない貴重な経験となりました。

佐藤理事長に出向の機会をいただきましたこと、並びに郡山青年会議所メンバーの福島ブロック大会等の開催にご協力いただきましたこと及びいわきの地に足をお運びになり参加いただきましたことに、厚く御礼申し上げます。

この経験を今後の活動にしっかりと活かせるよう精進してまいりますので、引き続き宜しく願いいたします。

組織連携推進委員会
幹事 遠藤 典宏
委員 安齋 元喜

はじめに本年度、公益社団法人日本青年会議所 東北地区 福島ブロック協議会 2019年度組織連携推進委員会に出向させていただきました誠にありがとうございました。佐藤理事長をはじめと致します理事の皆様、また暖かく送り出してくださいましたLOMメンバーの皆様に感謝申し上げます。

持続可能な社会の実現、誰一人取り残さない社会の実現に向けてSDGsの勉強会と推進活動、多子社会の実現や地域経済の活性化、地域の未来を担う青少年の育成を軸とし、一年間事業に取り組んで参りました。

SDGsの普及活動は一般の方々にはまだ馴染みは薄く、まずはロゴマークやSDGsという言葉を知ってもらうことが先決であると考え、JCカップでは、キックターゲットを行いながら明日からできる「私のSDGs宣言」を子どもたちと一緒に考える事業を行いました。ブロック大会では、SDGsのロゴが入ったうちわを配る活動を行いました。活動を通じて誰一人として取り残さない社会の実現へと繋がって行く実感することができました。

組織連携推進委員会への出向を通し、SDGsの推進活動、多子社会の実現や地域経済の活性化、地域の未来を担う青少年の育成についての重要性を学ぶことができました。

最後になりますが、出向の機会をくださった佐藤理事長をはじめとする現役会員の皆様に感謝申し上げます。報告とさせていただきます。

アカデミー委員会
委員 佐久間 郡
委員 矢吹 瞬

はじめに、佐藤理事長をはじめと致しますメンバーの皆様には本年度福島ブロック協議会アカデミー委員会へ出向させていただきましたことを心より感謝申し上げます。

アカデミー委員会では「Go Admire!」のスローガンのもと、憧れられる人材になるべくJCI Achieveセミナー、JCI Impactセミナー、JCI Adminセミナー、褒賞セミナー、スピーチセミナー、議案書作成セミナー、全5回の憧れられる先輩の講演会など様々な成長の機会をいただきました。

会員会議所会議において各LOM理事長の方々を前にして模擬上程をさせていただきました際には、厳しくも暖かいご意見をいただき物事の本質を見極めることの重要性を学びました。7月の福島ブロック大会では我々塾生自らが議案書作成から実施までを行い、県内の魅力や課題を見出し、一般市民向けに縁日に見立てたブースでクイズとして出題す

るなどセミナーだけではなく、実際に経験出来たことはこれからの活動への貴重な経験となりました。

一年間の活動を通して、委員会で学び、議案書作成で議論し、福島ブロック大会で実行するという一連のサイクルを経験させていただき、数多くの気づき、学びを得ることができました。さらにその中で自らに厳しく、仲間を信じることの重要性を学び、憧れられる人材へ近づくことができたかと思えます。

最後になりますが、LOMの皆様からはいつも暖かい声を掛けていただき最後まで走り抜けることができました。心より感謝申し上げます。一年間ありがとうございました。

総務委員会
副委員長 門脇 真
委員 菅野 豊晴

本年、福島ブロック協議会 総務委員会に出向させていただきました。

総務委員会は、各種会議の設営、議事録の作成のほか、事業として、2月に新春の集い、4月にしゃくなげカップ、7月に福島ブロック大会 in いわきにおけるプロトコルセミナー、11月に福島ブロック卒業式を担当させていただきました。

このように福島ブロックの活動を下支えする中で、福島ブロックの各委員会の各事業に対する熱量、各LOMの事業に向き合う真摯さを間近で感じることができ、また、様々なリーダーシップなど多くの気づきと学びを得ることができました。

このような出向の機会を与えていただいた佐藤拓也理事長を始めとする郡山青年会議所メンバーの皆様に感謝申し上げます、ありがとうございました。

佐藤拓也理事長を始めとする公益社団法人郡山青年会議所会員の皆様、2019年度のJC運動・活動、大変お疲れ様でした。本年度は「心を一つに！輝きある未来へ！！～一人ひとりの輝きが郡山を照らす～」のスローガンのもと、郡山の更なる発展のために佐藤理事長を中心にLOMメンバーが一致団結して様々な事業を行って参りました。それぞれの事業には人材育成、気づきの提供、スポーツ、防災等のテーマがあり、郡山の発展に繋げることができたのではないかと思います。

また、本年度は2021年度東北地区フォーラム郡山開催誘致へ向けて東北地区協議会へ立候補し、無事可決承認されました。メンバーが新たな一つの目標に向けて一丸となり、士気を高め成功に導いていただければと思います。

例会の出席率は平均63.3%、事業の出席率は平均46.6%であり、いずれも昨年度より下がる結果となり次年度以降の課題となりました。

出向につきましては、日本青年会議所、東北地区協議会、福島ブロック協議会に出向者19名を輩出いたしました。中でも東北青年フォーラム誘致に向けて東北地区協議会へ大槻会務担当副会長をはじめ多くのメンバーを輩出いたしました。各出向者の皆様が郡山青年会議所の一員としての自覚を持ち、それぞれの出向先で率先して参加することにより輝きある活躍をしていただきました。その経験を次年度以降にLOMにおいて活かしていただければと思います。出向者の皆様、一年間お疲れ様でございました。

一人ひとりが当事者意識を持って輝くことが郡山青年会議所、ひいては郡山の輝きある未来に繋がります。郡山青年会議所メンバーの心を一つにして、風土・歴史・文化を再認識し、次世代に夢と希望を与えるような、ひとづくり、まちづくり運動を推進していただき、郡山のために更なる運動・活動を展開していただくことを心からご祈念申し上げます。私ども2名の監事報告とさせていただきます。

公益社団法人郡山青年会議所 2019年度 各委員会月別報告書 No.1

	総務委員会	会員開発委員会
1月	10日 第1回委員会開催 17日 第2回委員会開催 文書発送 23日 新年会開催 30日 1月例会・定時総会開催	11日 委員会の開催(第1回) 17日 委員会の開催(第2回) 18日～20日 京都会議の引率
2月	04日 第3回委員会開催 15日 第4回委員会開催 文書発送 21日 2月例会開催	08日 委員会の開催(第3回) 20日 委員会の開催(第4回) 24日～25日 新入会員オリエンテーション並びに 現役会員向け会員開発セミナー開催(室合同)
3月	06日 第5回委員会開催 15日 第6回委員会開催 文書発送 21日 3月例会開催	05日 委員会の開催(第5回) 18日 委員会の開催(第6回) 29日 会員拡大会議の開催(第1回)
4月	01日 第7回委員会開催 15日 第8回委員会開催 文書発送 22日 4月例会開催	03日 委員会の開催(第7回) 15日 委員会の開催(第8回) 22日 4月例会・チェリーパーティーの開催 24日 新入会員候補者面接 29日 委員会の開催(第9回)
5月	05日 第9回委員会開催 16日 第10回委員会開催 文書発送 24日 5月例会開催	14日 續大輔氏講演会～郡山の未来を創り出すリーダーへ～開催 17日 委員会の開催(第10回) 22日 委員会の開催(第11回) 31日 会員拡大会議の開催(第2回)
6月	03日 第11回委員会開催 14日 第12回委員会開催 文書発送 16日 6月例会開催 郡山JC文化祭開催	03日 委員会の開催(第12回) 11日 OB元気会の開催 17日 委員会の開催(第13回) 28日 委員会の開催(第13回)
7月	☒1日 第13回委員会開催 06日～07日 福島ブロック大会inいわき参加引率 16日 第14回委員会開催 文書発送 25日 7月例会開催 31日 第15回委員会の開催	01日 委員会の開催(第14回) 16日 委員会の開催(第15回)
8月	03日 奈良JCとの交流会及びうねめ祭り踊り流し参加開催 19日 第16回委員会開催 文書発送 22日 8月例会の開催 23日 8月例会開催	16日 委員会の開催(第16回)
9月	☒3日 第17回委員会開催 13日～14日 奈良公式訪問開催 18日 第18回委員会開催 文書発送 24日 9月例会・定時総会開催	03日 委員会の開催(第17回) 17日 委員会の開催(第18回) 26日 新入会員候補者面接 30日 会員拡大会議の開催(第3回)
10月	03日 第19回委員会開催 16日 第20回委員会開催 文書発送 21日 10月例会開催	02日 委員会の開催(第19回) 16日 PEP Kids Koriyama 支援協力
11月	06日 第21回委員会開催 15日 第22回委員会開催 文書発送 23日 11月例会の開催	19日 委員会の開催(第20回) 20日 PEP Kids Koriyama 支援協力 20日 上田博和氏講演会開催 22日 委員会開催(第21回) 29日 新入会員候補者面接
12月	04日 第23回委員会開催 14日 12月臨時総会開催 12月例会並びに卒業式開催 26日 第24回委員会開催 文書発送	03日 委員会の開催(第22回) 12日 新入会員候補者面接 13日 新入会員候補者面接 18日 PEP Kids Koriyama 支援協力

公益社団法人郡山青年会議所 2019年度 各委員会月別報告書 No.2

	広報渉外委員会	まちづくり委員会
1月	16日 委員会の開催(第1回) 17日 広報誌発刊 ◎ホームページの企画・運営・管理	11日 委員会の開催(第1回) 15日 PEP Kids Koriyama支援協力 17日 委員会の開催(第2回)
2月	02日 委員会の開催(第2回) 15日 委員会の開催(第3回) 23日～24日 新入会員オリエンテーション並びに 現役会員向け会員開発セミナーの実施(室合同) ◎ホームページの企画・運営・管理	06日 委員会の開催(第3回) 18日 委員会の開催(第4回) 20日 PEP Kids Koriyama支援協力
3月	04日 委員会の開催(第4回) 15日 委員会の開催(第5回) 21日 3月例会 青木仁志氏講演会の企画・運営(総務委員会合同) ◎ホームページの企画・運営・管理	05日 委員会の開催(第5回) 18日 委員会の開催(第6回)
4月	02日 委員会の開催(第6回) 15日 委員会の開催(第7回) ◎ホームページの企画・運営・管理	01日 委員会の開催(第7回) 17日 委員会の開催(第8回)
5月	07日 委員会の開催(第8回) 16日 委員会の開催(第9回) 16日 広報誌発刊 ◎ホームページの企画・運営・管理	01日 委員会の開催(第9回) 15日 PEP Kids Koriyama支援協力 20日 委員会の開催(第10回) 24日 5月例会並びに輝け!郡山の魅力サミット～新たな可能性の創出へ～
6月	03日 委員会の開催(第10回) 14日 委員会の開催(第11回) ◎ホームページの企画・運営・管理	05日 委員会の開催(第11回) 17日 委員会の開催(第12回)
7月	01日 委員会の開催(第12回) 16日 委員会の開催(第13回) 17日 PEP Kids Koriyama支援協力 31日 委員会の開催(第14回) ◎ホームページの企画・運営・管理	02日 委員会の開催(第13回) 17日 委員会の開催(第14回) 19日～21日 サマーコンファレンス2019 31日 委員会の開催(第16回) 28日 委員会の開催(第15回)
8月	13日 委員会の開催(第15回) 19日 広報誌発刊 20日 PEP Kids Koriyama支援協力 ◎ホームページの企画・運営・管理	20日 委員会の開催(第17回)
9月	03日 委員会の開催(第16回) 17日 委員会の開催(第17回) 18日 PEP Kids Koriyama支援協力 ◎ホームページの企画・運営・管理	02日 委員会の開催(第18回) 17日 委員会の開催(第19回) 22日 ユニバーサルフェスティバル2019～音楽とスポーツでつながる郡山～
10月	3日 委員会の開催(第18回) 11日～13日 全国大会富山大会引率 16日 委員会の開催(第19回) ◎ホームページの企画・運営・管理	02日 委員会の開催(第20回) 16日 委員会の開催(第21回)
11月	05日 委員会の開催(第20回) 15日 委員会の開催(第21回) ◎ホームページの企画・運営・管理	06日 委員会の開催(第22回) 19日 委員会の開催(第23回)
12月	04日 委員会の開催(第22回) 17日 委員会の開催(第23回) 26日 広報誌発刊 ◎ホームページの企画・運営・管理	03日 委員会の開催(第24回) 20日 委員会の開催(第25回)

公益社団法人郡山青年会議所 2019年度 各委員会月別報告書 No.3

青少年育成委員会	
1月	11日 委員会の開催（第1回） 22日 委員会の開催（第2回）
2月	06日 委員会の開催（第3回） 18日 委員会の開催（第4回）
3月	04日 委員会の開催（第5回） 15日 委員会の開催（第6回）
4月	02日 委員会の開催（第7回） 15日 委員会の開催（第8回） 25日 「久米賞・百合子賞」第1回実行委員会の開催
5月	04日 委員会の開催（第9回） 05日 「第53回郡山市こどもまつり」への参加 15日 PEP Kids Koriyama支援協力 20日 委員会の開催（第10回） 26日 わんぱく相撲郡山場所開催
6月	04日 委員会の開催（第11回） 09日 わんぱく相撲福島ブロック場所開催 17日 委員会の開催（第12回） 19日 PEP Kids Koriyama支援協力
7月	01日 委員会の開催（第13回） 14日 スマイルキッズチャレンジ～わくわく！防災思いやりキャンプ！～事前説明会の開催 17日 委員会の開催（第14回） 27～28日 スマイルキッズチャレンジ～わくわく！防災思いやりキャンプ！～の開催 30日 委員会の開催（第15回）
8月	03～04日 わんぱく相撲全国大会引率 20日 委員会の開催（第16回） 25日 わんぱく相撲女子全国大会引率
9月	02日 「久米賞・百合子賞」応募締め切り 03日 委員会の開催（第17回） 14日 委員会の開催（第20回） 06～08日 東北青年フォーラム引率（能代） 10日 「久米賞・百合子賞」読み合わせ会 17日 委員会の開催（第18回） 25日 「久米賞・百合子賞」第2回実行委員会の開催
10月	03日 委員会の開催（第19回） 16日 委員会の開催（第20回） 18日 「久米賞・百合子賞」最終審査会の開催
11月	06日 委員会の開催（第21回） 19日 委員会の開催（第22回） 23日 11月例会・第58回「久米賞・百合子賞」授賞式
12月	05日 委員会の開催（第23回） 19日 「久米賞・百合子賞」第3回実行委員会の開催 26日 委員会の開催（第24回）